

九州地区大学図書館協議会誌

第 67 号

2024

九州地区大学図書館協議会

目 次

【巻 頭 言】	
ある図書館長の悩み	
・・・・・・・・・・・・・・・・北九州市立大学図書館長 二 宮 正 人	1
【寄 稿 論 文】	
電子書籍の充実と利用促進に向けた取組	
・・・・・・・・・・・・・・・・熊本県立大学図書館 武 末 俊 光	3
【図 書 館 紹 介】	
北九州市立大学図書館	6
東海大学熊本図書館臨空（臨空図書館）	9
【加盟館ニュース】	14
【図書館活動報告】	32
【事務局報告】	41
【協議会総会記録】	43
【資 料】	
九州地区大学図書館協議会会則	47
九州地区大学図書館協議会総会運営に関する細則	48
九州地区大学図書館協議会入会に関する細則	49
九州地区大学図書館協議会誌編集に関する内規	53
九州地区大学図書館協議会表彰規程	53
研修会の補助に関する申合せ	58
副幹事館の役割	60
九州地区大学図書館協議会ホームページの運用について	60
加盟館一覧	62
役員館一覧	65
総会当番館一覧	70

【ある図書館長の悩み】

北九州市立大学図書館長 二 宮 正 人

はじめに

北九州市立大学図書館では、2027年度末を目途に、開館日及び開館時間の見直しを実現するための議論に着手した。2022年10月の大学設置基準の改正（令和4年文部科学省令34号）を受け、大学図書館に期待される新たな機能や役割に応えることのできる運営体制を再構築すること、同時に図書館員の適正な労働環境を確保すること、を議論の目的としている。

（1）大学設置基準の改正と大学図書館

改正にあたっては、大学図書館の機能が教育研究の促進にとって不可欠であるという認識のもと、教育の質保証を実現するためにも、①紙媒体に留まらない各種資料の整備・提供、②教育・学習の場としての整備、③図書館間の協力体制の整備、④新たな機能を十分に発揮させるために必要な専門的職員の配置等が議論されてきた。

改正のポイントの一つに、教育研究の促進への関与の明確化がある。改正後の第38条には、「教育研究を促進するため、」という文言が追加されるなど、学術的な資源を整備する意味を明らかにするとともに、図書館と教育研究との関係を示している。二つめは、来館型特化施設からの脱却である。旧規定では、「大学は、図書、学術雑誌等の資料を図書館を中心に系統的に備える」、また「図書館には閲覧室、整理室等を備える」とされるなど、利用者が直接来館をすることを前提とした枠組みであった。改正では、図書館を中心に系統的に整備する資料として「電磁的情報により提供される学術情報」が規定に加えられたほか、「図書館に閲覧室、

整理室等を備える」ことを求める規定自体は削除されている。

大学図書館には、緊急時にも対応可能な教育研究環境の整備、学術情報資源のデジタル化への対応、社会のDX化に順応しうる人材の育成などの観点から、「場所や時間を問わない、持続可能な情報提供体制の構築・運用」と「職員の新たな専門性」が求められることになった。

（2）本学の運営体制の現状と課題

本学図書館では、現在、授業期間中は、平日・土曜日の8:55-21:30、日曜日の10:00~18:00に開館し、課長1名、係長1名、職員15名（契約職員）の事務体制で、シフト制を組み、運営している。そのため、職員の勤務形態は不規則で、週の勤務日・休務日には周期性は期待できず、また翌月のシフト表が出るまでその月のお休みがわからないという不便さもある。このような不安定な雇用環境は、当然、ワークライフバランスの実現の観点からは、改善が求められるべきものであり、とくに子育て層の職員にとっては、土・日や夜間の対応が大きな負担になるとの声が上がっている。

また職員全員が一堂に会する時間帯がほぼ確保できない状況にあるため、全員揃ってのミーティングの開催も難しいという現実がある。図書館員の倫理綱領（日本図書館協会、1980年6月4日総会決議）によれば、図書館員には、組織体の一員として、「自館の運営方針や奉仕計画の策定に積極的に参画する」こと、また「相互の協力を密にして、集団としての専門的能力の向上に努める」ことが求められている。

現在、大学図書館には、情報リテラシー教育の深化や、研究活動支援としてのオープンアクセスの推進といった取組が強く求められている。

まずはどのように対応していくのか、従事する職員全員が、正規・非正規の区別なく、意思決定の過程に参画でき、また丁寧に議論ができるよう十分な時間を確保する必要がある。本学の場合、スタッフの15名全員が契約職員（司書・司書補の資格あり）であるが、本来正規の専任職員によって担われるべき根幹的な業務にまで非正規職員が従事している。図書館と民主主義との関係性に鑑みれば、図書館においてこそ、民主主義を支える「参加と包含」という理念が正しく実践されるべきである。

また図書館員には、改めて体系的に新しい知識やスキルを身につけることが求められている。職員個人の専門的能力の向上のためにも、研修機会の確保は欠かせないが、研修の効率性や、集団としての専門的能力の向上という観点からも、全員が参加し、意見交換できるような研修機会を提供していくことが望まれる。日々の業務を通じて得られた個々の経験が組織的に蓄積され、継承・共有されていくことで、大学図書館という組織自体の強みにも繋がる。

さらに学生らの情報リテラシーを涵養するためには、必要な時期に、必要な資源（人員）を動員し、最適投入する必要がある。入学当初に新入生と図書館を結びつけ、初年次教育で学生の図書館活用力の基礎を固め、専門演習の開始や卒論着手の時期に最低限の研究の技法を身につけてもらうことは、大学にとって非常に重要な取組となる。

限られた人員や予算の中で、これらの課題に適切に対処していくためには、開館日や開館時間の見直しに手をつけざるを得なかった。教員組織や学生団体にもこのような実情を理解してもらい、時間をかけなが

ら真の合意形成を図っていく必要がある。

（3）図書館員の専門性と処遇の乖離

大学図書館員には、①大学図書館職員としての専門性、②学習支援における専門性、③教育への関与における専門性、④研究支援における専門性が求められる（『大学図書館の整備について』2010年、pp. 17-19）。専任教職員採用の見込みの薄い本学では、契約職員に対し、①は当然、②から③への挑戦、そして④の深化（機関リポジトリの管理から研究サイクルへの寄り添い支援）までが、今後の業務の範疇として、期待されることになる。おそらくこれまで同様、問題なく順応されることであろう。

しかしその専門性は、公立大学であるがゆえに、処遇において評価されていない。契約職員の処遇の中で、保健師や、エンジニアリングアドバイザー、看護師、留学生アドバイザー、知的財産管理の職種の専門性は給与体系に反映されているが、図書館司書の給与は、採用は別枠でも、一般事務と同じ水準におかれたままである。「公立図書館の司書は自治体の行政職員と同等に扱われているなど、図書館の設立母体の一般的職員と同等に処遇することが通常」であり、「専門性を認めつつも、人材確保の上で、一般よりも厚遇するほどの必要性は認められていない」（『図書館ハンドブック』日本図書館協会、2016年、p. 365）を引きずっている。大学図書館員には、「教育・学習、そして研究のパートナーとして機能するだけのより高度な専門性が強く求められ」（竹内比呂也・國本千裕「大学図書館機能の変化に対応する新しい大学図書館員の育成に関する考察」『大学図書館研究』114号（2020年3月）、p. 10）ているにもかかわらず。無期転換が進むほど、有能な人たちが本学には揃っているはずなのに。

現代的な労働搾取の一つに加担してしまった図書館長の悩みは尽きない。

【電子書籍の充実と利用促進に向けた取組】

熊本県立大学図書館 武末 俊光

はじめに

これからの大学図書館の在り方について、文部科学省の審議会である科学技術・学術審議会 情報委員会（オープンサイエンス時代における大学図書館の在り方検討部会）が令和5年1月25日付けでまとめた「オープンサイエンス時代における大学図書館の在り方について（審議のまとめ）」は、「最近では、図書館のデジタル転換や、それを通じた支援機能の強化等の取組についての方向性を定めることが求められていることから、大学図書館職員も分野ごとのデータの取扱いや特性の違いを理解する知識までも求められるようになってきている。さらに、世界的な新型コロナウイルス感染症の拡大により、物理的な場所に制約されない大学図書館の在り方を早急に検討する必要性が強く認識されている。」(P.23)として、当時拡大していた新型コロナウイルス感染症への対応を意識した内容が盛り込まれており、大学を含む図書館のデジタル転換や大学図書館資源へのアクセス方法の多様化の確保が求められているところである。

本稿では、当大学図書館における近年の電子書籍の充実、その利用促進に向けた取組についてご紹介していきたい。

1. 図書・電子書籍の購入状況

(表1) 図書購入状況 ※電子書籍除く (単位:冊)

R2	R3	R4	R5	合計
2,803	2,657	2,614	2,681	10,755

(表2) 電子書籍購入状況 (単位:アクセス権購入タイトル数)

	R2	R3	R4	R5	合計
大学予算	19	37	78	111	245
国交付金	0	0	923	1,059	1,982
(合計)	19	37	1,001	1,170	2,227

当大学は、3学部（文学部、環境共生学部、総合管理学部）と1つのセンター（共通教育センター）があり、学生数は2,197名（令和6年5月1日時点）である。当大学図書館では、蔵書数約36万冊で年間約2千冊余りの図書を購入しているが（表1）、大学DXの取り組みの一環として、令和2年度から電子書籍の購入を開始した。当初は、本学予算のみによる購入であったが、令和4年～5年度に国の新型コロナウイルス感染症対応のための地方創生臨時交付金（以下、国交付金という。）を活用して、電子書籍の充実を図った。この結果、電子書籍の年間購入数は、令和2年度から令和3年度では50冊未満であったが国交付金の活用により令和4年度から5年度では1,000冊を超え、令和5年度末の累計購入冊数は2,227冊となった（表2）。

上述の国交付金を活用した電子書籍の購入に当たっては、図書館運営委員会で購入方法の検討を行った。その結果、学生教育に資する電子書籍及び教員・学生の研究に資する電子書籍を購入することを購入の基本方針とし、選書の主体は教員・学生・図書館の3者とした。また、購入予算の配分割合については、学生教育及び研究の専門家である教員推薦の購入予算に重点を置くこととし、教員：学生：図書館＝4：1：1の配分割合とすることが決定された。選書の時期については、一度に多数の選書することが困難となることが想定されたため、各年度とも前期と後期の2回に分けて選書を実施した。教員選書分については各学部の図書館運営委員を通じて各学部の教員の先生方に推薦を依頼し、学生選書分については学生へのリクエストを募集するとともに（未購入分の）試し読みができるように期間限定で学生に開放し、アクセスランキング上位のものを参考に購入を図った。

た。教員選書及び学生選書については（各選書主体に配分された）購入予算額に満たない場合は図書館が代わりに選書する形で購入を行い、図書館選書分については資格・多読関連を中心に選書した。なお、国交付金で購入した電子書籍の図書館システムへの書誌登録については、外部業者による委託作業により実施した。

なお、令和6年度からは本学予算のみで電子書籍の購入を進めていく予定であるが、本図書館では図書館選書予算のうち一定額を電子書籍の購入予算に割り当てており、その電子書籍購入予算を増やしているところである。今後の電子書籍予算の検討に当たっては、文部科学省の学術情報基盤実態調査における本学と同規模の公立大学（公立大学の2～4学部）の1大学あたり電子書籍の予算額（表3）等を参考に、本学における電子書籍の利用状況を鑑みながら、電子書籍の購入規模・内容を検討していく予定である。

（表3）公立大学(2～4学部)1大学あたり図書館資料費
(単位:千円)

(資料の種類)	R2実績	R3実績	R4実績	平均
図書	8,348	8,891	7,463	8,234
電子書籍	1,430	1,271	1,108	1,270
(合計)	9,778	10,162	8,571	9,504

※学術情報基盤実態調査結果報告(文部科学省)の公立大学C(2～4学部)の図書館資料費を大学数で除して1大学あたりの各図書館資料費(図書、電子書籍)を算出。

2. 電子書籍の利用促進の取組

購入した電子書籍の利用促進のため、令和5年度より以下の取り組みを行った。

(1) 図書館での電子書籍体験会

令和5年度より電子書籍体験会を開始した。当初は、多い月で4回、時には書店スタッフによる電子書籍体験会なども交え試行錯誤で開催していたが、曜日を固定した方が学生に分かり易いだろうということで、その後は第2・4水曜日に固定し、月2回開催（授業期間のみ）している。

(2) 授業出前講座による電子書籍体験会

導入した電子書籍を教員・学生に活用してもらう契機とするため、希望する教員の先生の授業に図書館職員が出向き、授業の時間の一部を活用して電子書籍体験会を実施した。こうした電子書籍体験会の実施後、今後とも電子書籍を授業等で活用していきたいとの教員の声もあった。その例として、英語多読用の電子書籍を紹介した英語の授業出前講座では、自宅からネットを経由して多数の書籍を自由に読むことのできる電子書籍の利点を生かし、今後は、英語基礎力向上を図るため自宅等での課題として英語多読用の電子書籍の読書を学生に課していきたいとの話が教員からあった。

（写真1）授業出前講座の電子書籍体験会の様子



(3) 電子書籍アクセス用のQRコード設置

開架の図書（冊子体）に関連する電子書籍がある場合は、その本棚にQRコードを記載したケースを設置することにより電子書籍への利用誘導を促した。特に資格関連や多読の図書はリピーターが多いため、重点的にQRコードを設置して誘導を図った（TOEIC、TOEFL、英検、簿記、英語多読関連など）。

(写真 2)

資格コーナーの電子書籍アクセス用 QR コード
(書架上)



(写真 3)

多読書の棚に設置の電子書籍アクセス用 QR
コード



電子書籍の蔵書の充実に伴い電子書籍の利用アクセス数は増加傾向にあり、上記の利用促進に向けた取組を実施した令和 5 年度における利用アクセス数は 5 千件を超えたところである (表 4)。利用アクセスの多い分野の 1 つとして、語学の資格試験 (TOEIC、TOEFL、英検等) などの電子書籍が挙げられる。本学では英語資格試験の受験を推奨しており、こうした方針に沿って本図書館では国交付金を活用して語学をはじめとした資格関係の電子書籍の充実に図ったことが、学生の資格勉強の利用ニーズに一定程度マッチしたこともあり利用アクセスが増加したものと推察される。

(表 4) 電子書籍利用状況 (単位: 利用アクセス数)

R2	R3	R4	R5	合計
229	576	4,155	5,061	10,021

おわりに

大学における教育・研究等の DX を国が推奨する中で、今後とも大学図書館のデジタル転換を通じて教育・研究等の支援を推進していくことが求められていく。今後の大学図書館に求められる教育・研究支援について、前述の文部科学省の審議会である科学技術・学術審議会 情報委員会 (オープンサイエンス時代における大学図書館の在り方検討部会) が令和 5 年 1 月 25 日付けでまとめた「オープンサイエンス時代における大学図書館の在り方について (審議のまとめ)」は、「大学図書館は、既存のコンテンツのデジタル化と、学術研究等の成果として今後生み出されるコンテンツのオープン化を進めるとともに、デジタル化されたコンテンツの利活用を支援する様々なサービスと現行業務について、利用者志向の立場から再構築する。」(P. 23) としている。こうした提言を踏まえながら、教員・学生ニーズに応えられる大学図書館を目指してこれからも様々な取組を行っていききたい。

参考文献

1. 科学技術・学術審議会情報委員会オープンサイエンス時代における大学図書館の在り方検討部会『オープンサイエンス時代における大学図書館の在り方について (審議のまとめ)』, 2023 年 1 月
2. 文部科学省研究振興局参事官 (情報担当) 付『令和 3 年度学術情報基盤実態調査結果報告』, 2022 年 3 月
3. 文部科学省研究振興局参事官 (情報担当) 付『令和 4 年度学術情報基盤実態調査結果報告』, 2023 年 3 月
4. 文部科学省研究振興局参事官 (情報担当) 付『令和 5 年度学術情報基盤実態調査結果報告』, 2024 年 3 月

図書館紹介

【北九州市立大学図書館】

はじめに

北九州市立大学図書館は、本館（新館）と書庫棟（旧館）から構成されています。本館（新館）は2016年4月にオープンし、その後旧館は書庫棟として整備されました。本館1階にはラーニング・コモンズエリアを設けアクティブラーニングが可能なエリアとなっています。2・3階は従来型の閲覧席を配置し静かに利用するエリアです。その他ギャラリーや休憩スペースなどもあり、滞在型・交流型の図書館へと活用の範囲を拡大しています。

施設概要

本館は環境共生型の設計が施されており、自然採光を取り入れるガラスファサードやアルミ製の日射制御ルーバーを備えています。また、雨水利用、ハイブリッド換気、太陽光発電などの機能を搭載しています。本館と書庫棟は1～3階で連絡通路によって接続されており、ICカードを用いた入退館管理により、利用者は蔵書の多くを自由に閲覧することが可能です。

- ・延床面積：
8,530 m²（本館 3,845 m²、書庫棟 4,685 m²）
- ・蔵書収容能力：720,000 冊
- ・座席数：660 席



館内案内

本館について紹介します。

【本館1階 ギャラリー】

ギャラリーは入退館ゲートの外に設置されており、どなたでも観覧可能です。図書館主催の展示だけではなく、教員や学生の活動報告やサークル活動の展示も行っています。



【本館1階 休憩スペース】

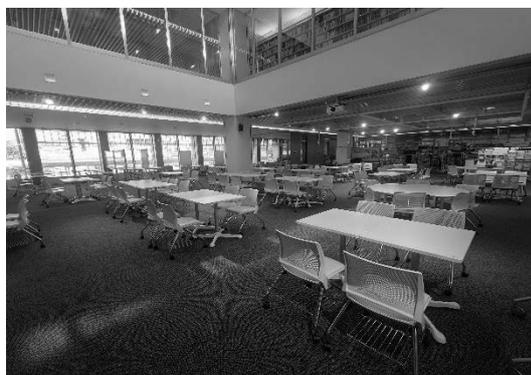
館内で唯一食事が可能な休憩スペースでは、個人でもグループでも自由に利用できる座席が配置されています。休憩時には多くの学生が利用する人気スペースです。



【本館1階 ラーニング・コモンズエリア】

1階の大部分を占めるこのエリアは、学生や教員が予約なしで利用でき会話しながらの学習が可能です。ホワイトボードやプロジェクターなどの学習支援ツールも自由に利用できます。

(ラーニング・コモンズエリア)



(貸出備品一覧[個数])

手続き 不要	プロジェクター(席固定) [1]、超短焦点プロジェクタ(席固定)[1]、ホワイトボード[5]、バタフライボード[10]
手続き 必要	インタラクティブホワイトボード[1]、超短焦点プロジェクタ[2]、モバイルプロジェクタ[2]、タブレット[37]、書画カメラ[2]、分配器[1]、変換ケーブル[2]

【本館1階 図書館ホール・グループ学習室】

図書館ホールとグループ学習室は予約をして利用するエリアです。スクリーンやマイクなど、大人数での学習やイベントに適した設備を整えており、授業や学生のグループディスカッションなど、さまざまな用途に利用されています。

(図書館ホール)



(グループ学習室)



【本館1階 個室ブース】

2024年に新設されたばかりの個室ブースは、主にオンライン就職活動を目的とした利用に対応しています。



【本館1階 マンガコーナー】

2022年に北九州市漫画ミュージアム様からの寄贈により設立され、研究や息抜きとして人気の場所です。(学内者限定で貸出可能)



【本館2階 閲覧席】

通常閲覧席のほか、教員・院生や学内者専用エリアも配置されています。

(通常閲覧席)



(手前:教員・院生／奥:学内者専用エリア)



【本館2階 特別図書コーナー】

指定図書や学生選書等のコーナーがあります。「〇〇学がわかるコーナー」は特定分野について教員が選書し、順に読むことでその学問への理解を深めることができるコーナーです。



【本館3階 階段状閲覧席】

靴を脱いでくつろぎながら読書ができる階段状の閲覧席です。正面のガラス窓から階下を見下ろせ、自然光が心地よい空間です。



【本館3階 サイレントルーム】

PCや電卓など音の出る機器の使用を制限した部屋です。本館の中で、最も静かな空間です。



終わりに

北九州市立大学図書館は、利用者が主体的かつ多様な学びを深められる環境を提供することを目的とし、静かな自習空間から交流を促すラーニング・コモンズまで、利用者の目的に合わせた最適な学習空間を整備しています。これからも、蔵書や設備の充実を図り、より快適で使いやすい図書館を目指してまいります。

【東海大学熊本図書館臨空（臨空図書館）】

はじめに

2016年4月の熊本地震で東海大学農学部があった阿蘇キャンパス（南阿蘇村）は甚大なる被害を受け、前身である阿蘇図書館も書庫内の書架が折れ曲がり図書や製本雑誌がすべて落下するなど、館内は想像を超える被害を受けた。

その後、農学部は熊本市内の熊本キャンパスへ移り業務を再開した。阿蘇図書館も熊本キャンパス内の熊本図書館へ移り2016年7月に業務を再開、2018年4月熊本キャンパスの熊本図書館と阿蘇図書館が九州図書館として統合され、阿蘇図書館は九州図書館新1号館図書館へ名称を変更した。

2023年4月、熊本空港の近くに新キャンパス、「阿蘇くまもと臨空キャンパス」（益城町）を農学部のキャンパスとして開設した。当館も名称を九州図書館臨空図書館として新キャンパス内に開館、2024年4月に熊本図書館臨空（通称・臨空図書館）と名称を変更し現在に至る。

施設概要

*構造：鉄筋コンクリート3階建て

*面積：1113 m²

*総座席数：101 席

【阿蘇くまもと臨空キャンパス平面図(校舎部分)】

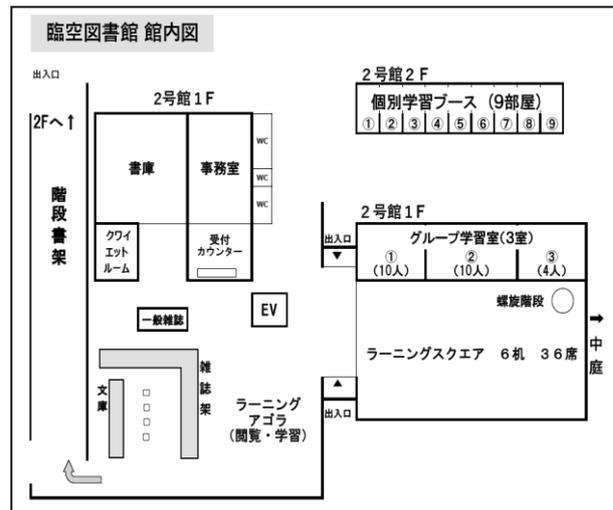


●臨空図書館…2号館A棟1階・一部2階

館内案内

館内は1階に学生が自由に利用できる飲食可のラーニングスクエア(36席)、閲覧・学習スペースとしてラーニングアゴラ(40席)、書庫を利用しながら静かに学習できるクワイエットルーム(8席)、サークルの話し合いや学会・卒論発表の練習、少人数の会議等の様々な用途で利用できるグループ学習室(3室)を設け、また2階へ上がる回廊を兼ねて階段書架(書架4台・長机3台16席)、2階に完全個室の個別学習ブース(9部屋)を設置。2階へはラーニングスクエア内の螺旋階段でも行き来できる。

エレベーター周りの壁には書棚を設置し、エントランスには農学部の紹介を、ラーニングアゴラに面した書架には新刊図書を配架している。



当館は従来型の図書館と異なり、開かれた施設として出入口が各所にあり、ゲートを設置せず、ラーニングスクエア・ラーニングアゴラ・階段書架は22:00まで自由に出入り可能なエリアとして活用されている。また、盗難防止のセキュリティシステムは設置せず、盗難防止に関しては、図書館と農学部が密に連携し、配架図書・雑誌を大学の共通財産として認識させるといった、学生への教育を中心とした対策を実施している。

【中庭から見た図書館外観】



【1F エントランス】



【1F ラーニングスクエア】



- ・螺旋階段で 2F へ

新キャンパスはガラス張りを多く使用しており、1階のラーニングスクエアは2階部分まで吹き抜けで、中庭に面した部分は全てガラス張りの開放感溢れるスペースとなっている。

- ・エレベータホールの周りに書棚を設置
- ・エントランスには農学部に関する資料を配架

【新刊コーナー】



- ・エレベータホールのラーニングアゴラ側には新刊図書を配架

【グループ学習室 1.2.3】



- ・ラーニングスクエアに隣接

【1Fクワイエットルームと書庫入り口】



【1Fクワイエットルーム】



- ・書庫と隣接、静かに学習したい学生が利用

【 書 庫 】



- ・移動書架 14 台設置

※書庫とクワイエットルームは受付窓口の業務時間内であれば自由に入出りできる。業務時間終了後は施錠する為、利用不可。

※個別学習ブース・グループ学習は受付窓口への利用申請の届出が必要。予約もできる。グループ学習は22:00まで利用可能。

※受付窓口業務時間

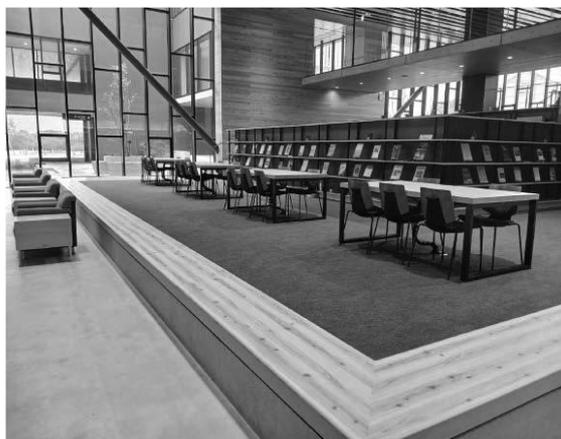
- ・平日 9:00-17:00 土曜日 9:00-16:00
- ・日曜・祝日（授業日以外）・休業日は窓口閉鎖

【1Fラーニングアゴラ・一般雑誌配架】



- ・机の中央に一般雑誌を配架

【1Fラーニングアゴラ・閲覧・学習スペース】



- ・奥のL字型の書架には学術雑誌・寄贈雑誌の最新号を配架

【1Fラーニングアゴラ・文庫本閲覧スペース】



- ・「閲覧学習スペース」L字型の雑誌架の裏側にあたる場所。書架には文庫本と洋雑誌を配架。学生はゆったりとくつろげるスペースとして利用している。

【階段書架】



階段書架は4台の書架と3台の長机が交互に設置されており、階段とスロープを併用し少しずつ2階部分へと上がっていく形式となっている。

各書架には全学生へ読んでほしい図書として、大学院生・教養科目担当教員・農学部教員が当館所蔵中の図書から推薦する図書の選定、各学科の図書委員がとりまとめ図書館へ報告、図書館でリストをまとめ配架作業を行う。

大学院生、教養科目教員選書・動物科学科教員選書・農学科教員選書・食生命科学科教員選書と書架ごとに区別し配架している。

書架の間に設置している長机は学生が学習の場として活用している。

【階段書架を上から見た写真】



こちらも2階までの吹き抜けで、正面とT・ランウェイ側（施設概要の平面図参照）はガラス張りで開放的な空間となっている。

【2F 個別学習ブース】



- ・手前に1部屋、段下がり奥へ8部屋併設廊下を奥へ進むとラーニングスクエア内の螺旋階段へつながり、1Fへ行き来できる。

おわりに

熊本地震で被災した阿蘇キャンパスは、雄大な阿蘇の山々が見渡せる、緑豊かで農学部として最適な場所にあり、その中で阿蘇図書館も窓から見える四季折々の風景に癒される、素晴らしい環境の中にあった。

2023年3月、熊本地震以後の様々な困難を乗り越え、空港がある益城町に農学部の新キャンパス「阿蘇くまもと臨空キャンパス」が完成し、臨空図書館は同年4月から新しい環境の中で、開かれた図書館として開館した。

個別学習・グループ学習、アクティブラーニング、ミーティング、オンライン学習などのスペースを設け、さらに22時まで自由に入出可能なエリアも併設し、ラーニングコモンズの場として、汎用性の高い新時代の図書館として再生した。

館内にはWi-Fiが整備され、どの場所においてもネット通信が可能で、オンライン学習はもちろんのこと、個別学習ブースでは遠隔授業や企業面談、会社説明会等での利用、グループ学習室では少人数での学習活動やサークル活動、修論・卒論発表の練習、各種会議など、様々な用途で活用している。その他、教員主催の各種学

会や本学のオープンキャンパスなどにも利用されている。

今後、従来の図書館としての役割を果たしながら様々なニーズに対応できる開かれた図書館として、多くの利用者から親しまれ常に成長と進化をし続ける図書館であるよう努力していきたい。

【大分大学】

「OA 加速化くん」誕生

大分大学の「オープンアクセス加速化事業」採択を機に、イメージキャラクター「OA 加速化くん」が誕生した。オープンアクセスの広報を目的として、パンフレット、グッズ、図書館及び医学図書館へ設置した懸垂幕等に使用され、学内外から好評を得ている。



講習会

レポートの書き方に関する講習会を5月に対面及びオンラインで開催したほか、データベース等の利用講習会をオンラインで開催して、資料及び動画を Moodle 等で公開している。

レポートの書き方相談デスク

大学院生のチュータによるレポートの書き方相談デスクを4月から1月の間実施し、レポートの作成や学習に関する個別相談に対面及びオンラインで対応しているほか、レポートの書き方を分かりやすく解説するガイド資料等を作成・配布している。

企画展示

旦野原図書館では、図書館のサービス案内や資料の利用推進等を目的として、テーマを設けた展示を行っており、主に学生を対象とした展示や大分県立図書館（OPAM）や大分県と連携した企画展示を行った。

<展示内容一覧>

- 2月：ブルーボックス展
- 4月：新生活応援展
- 6月：防災展
- 7月：養老孟司先生と虫展
- 8月：水展
- 9月：中学生が選ぶ！大学生におすすめしたい本
- 10月：オープンアクセス加速化展
- 11月：大学図書館の本-こんな本、あります-



7月の企画展示

大学開放イベント

11月4日(月)の大学開放イベントに合わせて、旦野原図書館では絵本の読み聞かせや一般・娯楽雑誌の無償配布などのイベントを開催した。当日は約800名の来館があり、普段なかなか大学図書館を使うことがない学外者の方に大学図書館の魅力を感じてもらえる機会となった。



一般・娯楽雑誌の無償配布



教育学部学生による絵本の読み聞かせ会



館内を巡るスタンプラリー

【鹿児島大学】

全学オープンサイエンス推進委員会

令和6年6月18日付で全学オープンサイエンス推進委員会を発足させた。委員会は全学の部局長クラスで構成され、7月11日に第1回、9月12日に第2回、11月14日に第3回の委員会を開催し、オープンサイエンスの動向に関する情報共有や今後の活動計画等の議論を行った。また11月から2月にかけて全部局を回り、即時オープンアクセス義務化などの国の施策、大学での対応状況の説明会を行い、全学的なオープンサイエンス化を進めている。

電子ジャーナル転換契約によるOA支援開始

令和6年から大手3社(Elsevier, Wiley, Springer Nature)と電子ジャーナル転換契約を締結し、ある一定の条件(主にジャーナルの評価)を満たした本学研究者の論文については、著者がAPCを負担することなくOA論文とする支援を開始した。令和6年7月26日から令和7年3月31日までの期間については、文部科学省「オープンアクセス加速化事業」に採択されたことに伴い、利用条件を拡大して支援を実施している。

第54回九州地区国立大学図書館協会総会及び第75回九州地区大学図書館協議会総会の開催

令和6年4月15日(月)、中央図書館5階ライ

ブラリーホール及び図書館長室において、鹿児島大学を当番館とし、対面及びWebのハイブリッドによる第54回九州地区国立大学図書館協会総会が開催され、各種議題について協議された。また、令和6年6月6日(木)～19日(水)の期間で第75回九州地区大学図書館協議会総会が書面回議にて開催された。

九州地区国立大学図書館協会実務者連絡会議

令和6年10月11日(金)、中央図書館5階ライブラリーホールにおいて、令和6年度九州地区国立大学図書館協会実務者連絡会議が開催された。『DX時代の大学図書館における学習支援の在り方』を会議テーマに活発な意見交換と各館の情報共有が行われた。また令和7年度の会議テーマとして『即時OA義務化への対応』について提案することとされた。

利用者向け講習会

7月17日(水)

「ジャーナル・インパクトファクター活用術」

10月9日(水)

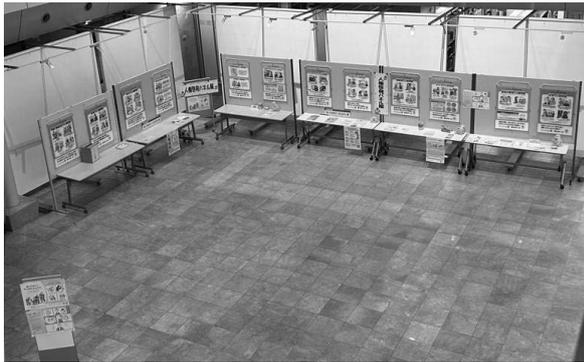
「鹿児島大学専用環境によるオンラインセミナー「EndNoteでは何ができるか?」」

企画/展示等

人権啓発パネル展

中央図書館では、令和6年10月21日（月）～11月1日（金）までの期間、鹿児島市役所市民局人権政策部人権推進課による人権啓発パネル展示を1階ギャラリーアトリウムにて行った。

身近な人権問題を12枚のパネルで鹿児島弁を交え解説しており、分かりやすく学生にも好評だった。



「授業支援企画：男女共同参画展」

令和6年9月26日（木）～令和7年2月7日（金）まで、共通教育後期授業「身の周りの男女共同参画」の支援企画として、男女共同参画に関連する図書のテーマ展示を行った。



「ビブリオバトル2024」

鹿児島大学附属図書館学生サポーターにより、10月5日（土）、6日（日）に、全国大学ビブリオバトル2024の九州Bブロック予選会「知的書評合戦ビブリオバトル 鹿児島大学×宮崎大学」が開催された。

今回の予選会は対面とオンラインのハイブリッド開催で、10月5日に2回、6日に1回の計3回実施し、各回4人のバトラーが個性豊かに本を紹介し、観覧者投票の結果、3冊のチャンプ本が選出された。

「リアル宝探し ～見てはいけない～禁書の秘密」

10月21日～11月8日の月・水・金、

開催場所:水産学部分館

学生対象の「令和6年度鹿児島大学進取の精神チャレンジプログラム」に採択された水産学部学生有志の「謎解き KAGOSHIMA プロジェクトチーム」主催の謎解きイベントが水産学部分館で開催された。

この企画の趣旨は、水産学部分館のサービス・設備を活用した謎解きに参加することで、図書館の施設利用促進とアフターコロナの学生同士の交流の機会を創出することである。水産学部分館でもコロナ禍後の利用者増の対策を検討していた時期でもあり、全面的にバックアップを行った。開催7日間で約50名の参加があり、チーム毎に振り分けられた参加者からはとても謎解きが楽しかったとの感想があり、参加者はゲームを進めながらグループ学習室の予約やDVDを借りての鑑賞等、図書館での体験を楽しんでいた。



リアル宝探し
～見てはいけない～
禁書の秘密
探してくれてありがとう
10.21(月)-11.8(金)
水産学部の図書館にて開催

開催場所	鹿児島大学附属図書館水産学部分館
開催曜日	月 水 金
開催時間	2、3、4、5限目（所要時間1ゲームあたり70分）
参加料金	無料
参加方法	事前予約 予約はコチラから→

主催 謎解きKAGOSHIMAプロジェクトチーム

※このイベントは謎解きをして物語を進めていく参加型イベントです。

オープンキャンパス

令和6年8月1日(木)～31日(土):鹿児島大学附属図書館オープンキャンパス2024を開催。

対面企画として『施設見学「謎解きゲーム」』を実施した。

**鹿児島大学附属図書館
オープンキャンパス
2024**

図書館HP

●対面企画
【中央図書館:8/3(土)】
・施設見学「謎解きゲーム」
(※定員あり。要事前申込。詳しくは図書館HP又は大学HP「どこでもKADAIドア」オープンキャンパスをご覧ください)
図書館サポーター企画の謎解きゲームをしながら探検しよう!
謎解きゲームをしながら各自で図書館を見学してもらいます。
9:00～15:00のうち都合の良い時間帯でお申し込みください。
(※最終入館時刻は14:00まで)
・「学生選書ツアー選定図書」展示
・「男女共同参画展」

○オンライン企画
・大学HP「どこでもKADAIドア」(受験生応援サイト)にて、図書館サポーターが作成したオープンキャンパス用動画(中央図書館紹介動画)の公開。
・図書館HPにてオリジナル菜データを配布中

どこでもKADAIドア



オープンライブラリー

中央図書館では、令和6年8月19日(月)～30日(金)までの期間、中高生に向け図書館の特別開放を行った。期間中は、閲覧、複写、カウンターでの利用指導、蔵書検索、閲覧席での学習を利用可能とし、中高生が普段利用できない大学図書館を体験する機会となった。

大学図書館を使ってみませんか?
中高生向けオープンライブラリー
2024.8.19(月) ▶ 8.30(金)

対象:鹿児島大学に興味のある中学生及び高校生
時間:9:00～17:00(休館日を除く平日)
場所:鹿児島大学中央附属図書館(中央図書館)
手続:入館時に学生証を携行して受付にて利用手続(当日のみ有効の「利用証」を発行します)
利用できるサービス:
館内資料の閲覧、複写、カウンターでの利用指導、蔵書検索、閲覧席での学習
注意事項:ルール違反、職員の指示に従わない場合は利用を停止することがあります。
団体での入館は別途申込みが必要です。

Instagram

〒890-0065 鹿児島市都元1-21-35 鹿児島大学中央図書館 利用サービス係 TEL: 099-285-7435

【鹿屋体育大学】

企画展示

本学では、学生への読書推進のため、毎年芥川賞・直木賞のノミネート作品及び本屋大賞の受賞作品を購入している。

また、年に1回教員推薦図書を募集し、購入している。

これらの購入した図書について、利用者が多く通るカウンター前ホールに展示し、利用者が手に取りやすい環境づくりを行った。利用状況については、貸出数も多く、足を止めて展示を眺める利用者の姿も多く見られるようになった。



高校生の職場体験学習

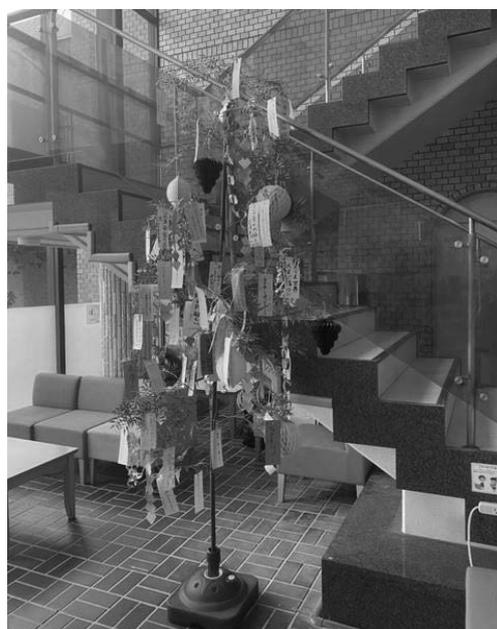
令和6年7月8日(月)、11日(木)、12日(金)の3日間、地元の高校生が職場体験学習のため、図書館の業務体験を行った。配架作業、蔵書点検、館内の装飾等、図書館の様々な業務を行った。

体験した高校生からは、「図書館の仕事として抱いていたイメージとは異なる仕事がたくさんあった。この経験を生かして将来の進路を考えたい」と感想を得ることができ、図書館の仕事を広める良い機会となった。

七夕飾り

令和6年6月～7月、図書館内に七夕飾りの装飾をし、利用者に願い事を書いてもらう企画を実施した。

多くの願い事が短冊に書かれ、とても賑やかな雰囲気の館内となった。



【北九州学術研究都市学術情報センター】

1. リフレッシュエリア拡張

昨年度から行っているリフレッシュエリア整備の拡張を行った。

今回は、閲覧机を移動させ、図書の展示スペースも兼ねたソファや、窓際にハイカウンターを設けた。外を眺めながら読書などができ、人気のスペースとなっている。



2. 講演会「なるほど！空想科学～マンガやアニメの世界を科学する～」開催

令和6年10月27日に「空想科学読本」の著者、柳田理科雄氏の講演会を開催した。

人気のアニメや、郷土の漫画家の作品を科学的視点で考えた話に、会場は驚きや笑いに包まれていた。子供から大人まで「科学」の楽しさを感じることができた時間となった。



3. 物探しゲーム「図書室でスカベンジャーハント！」開催

令和6年11月10日に学術研究都市のお祭り「ひびきの祭」にて、図書室ではスカベンジャーハントを開催した。問題を読み、図書室内にちりばめられた答えを探していくゲームで、問題を解くことで図書室の利用方法や、図書館の基本知識も知ることができる内容となっている。

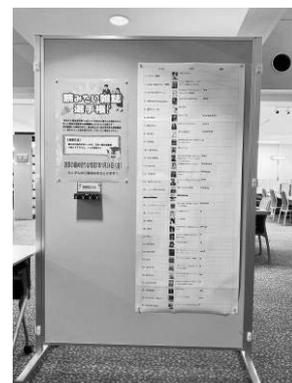
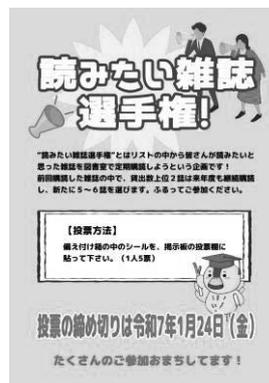
300組、458名の方に参加いただいた。



4. 「読みたい雑誌選手権」開催

令和6年11月10日～令和7年1月24日

2年に一度、スタッフで選んだ雑誌（一般雑誌）の中から、読んでみたい雑誌を投票で選ぶ選手権を行っている。候補約30誌の中から、一人5票投票していただき、昨年度貸出数の上位2冊を残留とし、投票数の多いもの5～6誌を購入している。



【九州工業大学】

図書館システムリプレース

2024年9月に図書館システムのリプレースを実施しました。今回のリプレースでは、オープンサイエンス時代を迎える中で、学術情報流通環境の変化に伴う電子リソースの多様化や増大化に適切に対応し、契約・管理業務の効率化及び、より効果的なナビゲーション機能を利用者に提供することを目的とし、電子リソースの契約・管理機能の導入を行いました。これにより、これまで表計算ソフト等で行っていた契約情報等の管理が図書館システム上で行えるようになり、データが一元化されたことで蔵書検索システムや大学の財務システムとの連携が容易になりました。

また、あわせて館内に設置している広報用のデジタルサイネージについてもシステムを刷新し、これまでのオンプレミスからクラウド型に切り替えを行いました。これにより、今まで管理端末からしか更新することができなかったサイネージのコンテンツが、Webブラウザ上でコンテンツ作成から配信管理まで簡単に実施できるようになり、管理上の利便性が向上しました。また、自館作成のコンテンツだけでなく気象情報やニュース・非常時の災害情報なども配信できるようになり、今まで以上に利用者の目を引く情報伝達媒体となりました。



研究データポリシー・OAポリシー策定

研究データの管理・保存・公開・利活用およびオープンアクセスを推進するため、本学における研究データポリシーおよびオープンアクセスポリシーを、令和6年2月に策定しました。

検討にあたっては、研究担当理事をリーダーとした、研究推進部門、URA、コンプライアンス室、図書館を含めたタスクフォースを設置しました。引き続き、即時オープンアクセス義務化に向けての具体的な運用方法や、研究データポリシーの運用要項等についての検討を行っていく予定です。

○九州工業大学研究データポリシー

<https://bap.jimu.kyutech.ac.jp/publishes/32798/>

○九州工業大学オープンアクセスポリシー

<https://bap.jimu.kyutech.ac.jp/publishes/32797/>

【九州大学】

1. オープンアクセス推進の取り組み

文部科学省「オープンアクセス加速化事業」により、本学では、即時 OA 義務化に向けた取り組みとして、機関リポジトリの登録支援システムの開発、期間限定 APC 支援拡大キャンペーンの実施、人文系研究データ公開プラットフォームのプロトタイプ開発などを行っている。

また、OA 推進体制の強化の一環として、全キャンパスの図書館職員からなる OA サポートチームを結成した。同チームは、各キャンパス図書館における相談対応を充実させるとともに、研究者及び職員のオープンアクセスに対する意識醸成・意識改革を図ることを目的としたもので、経験や現業務を問わずメンバーを募り、現在 19 名及びオブザーバ 4 名で構成している。OA 意識調査・啓発コンテンツ・勉強会企画の 3 つのサブチームに分かれ、研究者向けアンケート調査の実施やチラシ作成、勉強会の開催等、機動的に活動を行っている。

2. 研究データ管理スタートアップ支援事業

本学では、2024 年度より国立情報学研究所からの委託を受けて「研究データ管理スタートアップ支援事業」に参加し、データ駆動イノベーション推進本部研究データ管理支援部門（RDS 部門）と附属図書館との連携により取り組みを開始した。本事業は、各地区の拠点大学が中心となり、地域の研究機関の研究データ管理体制整備や支援サービスの構築を支援するもので、2023 年度に東海地区・北陸地区で開始され、2024 年度から九州地区でも展開することとなった。本年度は各大学の状況把握・ニーズ確認を行いつつ機運を高めるフェーズとし、主に以下の活動を行った。

10 月、RDS 部門主催、附属図書館・統合新領域学府ライブラリーサイエンス専攻共催により、国際シンポジウム「大学における研究データサービスの導入と展開」を開催した。本シンポジウムでは、米国ニューヨーク州立大学バッファロー校と英国エディンバラ大学の研究データサービスの実

務家を招聘し、先進的な事例紹介と日本における課題についての議論を行い、日本の大学に必要な研究データサービスとその実現方法について考察した。シンポジウムには対面とオンラインのハイブリッド形式で 268 名が参加登録し、各機関において喫緊の課題であることが確認された。

講演資料及び動画は、以下で公開している。

<https://hdl.handle.net/2324/7238303>



また、本事業を推進するに当たり、2023 年 3 月に結成された九州・沖縄オープンユニバーシティ (KOOU)¹ に、4 つ目の WG となる「研究データ管理・利活用 WG」を設置した。11 月には、本 WG の下に実務担当者で組織された推進連絡会による情報交換会を開催し、9 大学から研究推進部署や図書館の職員、URA 等 19 名が一堂に会し、研究データの支援体制、支援サービス、システム、研究データ管理教育、研究データの公開等について、情報共有と活発な議論を行った。

3. 貴重文物展示「続・雅俗繚乱 —江戸の秘本・珍本・自筆本—」を開催

附属図書館では、所蔵する貴重資料を広く公開するため、毎年、貴重文物展示を開催している。61 回目の今回は、会期を 2024 年 5 月 10 日～6 月 29 日とし、江戸期和装本を中心とした貴重書

¹ 九州・沖縄オープンユニバーシティ (KOOU) : 九州・沖縄の全 11 国立大学による、研究力向上に関する連携協力の共通プラットフォーム。

<https://koou.kyushu-u.ac.jp/>

コレクション「雅俗文庫」を取り上げた。雅俗文庫は故・中野三敏名誉教授の手により蒐集された資料群である。2009年から附属図書館で受け入れを進め、目録作成のための調査も終えたことから、企画した展示会であった。本学伊都キャンパスのフジギャラリーという創造性を育む展示専用空間を会場とし、雅俗文庫の中から選りすぐりの65点を展示した。展示品の中には2025年のNHK大河ドラマでも話題の蔦屋重三郎版の出版物もあり、注目を集めていた。

あわせて、5月18日には、展示の監修者である本学人文科学研究院の川平敏文教授によるギャラリートークおよび講演会を実施した。本学の学生や教職員に加えて、他大学の研究者の方、一般市民の方など、江戸文化に関心のある方々が多数足を運び、大変盛況であった。

展示会の会期後は、同内容を電子展示として再構成し、インターネット公開している。

<https://www.lib.kyushu-u.ac.jp/ja/exhibition/gazoku2024>

なお、当貴重文物展示は「九州大学デジタル資料整備事業」の寄附金によりご支援いただいた。

4. オンライン決済の全館導入および現金収納の廃止

2023年10月より、文献複写等の料金徴収において、クレジットカードによるオンライン決済、コンビニ店頭決済の二つの決済手段を新たに導入している。導入当初は、中央図書館・理系図書館・医学図書館の3館での実施であったが、2024年10月には、筑紫図書館・芸術工学図書館においても実施をスタートし、全館へ拡大した。図書館カウンターでの現金支払いに代わるものとして、これらの決済手段が利用者に定着してきたことから、同年には、図書館カウンターでの現金収納を廃止し、業務を省力化することができた。

新たな決済手段は、利用者の利便性を大幅に向上させるものである。図書館カウンターでの現金収納は、規則上、収納担当者に任じられた職員がいる時間帯（平日9時-17時）に限られる。この時間帯に来館し、料金を支払わなければ、利用者は文献を受け取ることができなかった。新たな決済手段により、利用者は、インターネットやコンビニでいつでも支払い可能となった。



【熊本大学】

第 16 回熊本大学東光原文学賞・受賞作発表 (1月)

今回で第 16 回を迎える熊本大学東光原文学賞には 15 作品の応募があり、1 月 12 日開催の表彰式において学長賞 1 篇、附属図書館長賞 3 篇を発表した。

学長賞は「Absolute/Fragile」、附属図書館長賞は、「青海」、「ネバーランドの黎明」、「ロストティーン」。受賞作品は、令和 6 年 3 月に刊行した『第 16 回熊本大学東光原文学賞作品集』（冊子）で読むことができ、過去の受賞作はすべて図書館ホームページで公開している。

(https://www.lib.kumamoto-u.ac.jp/about/tokogen_award)

クラウドファンディングによる松井家文書の修復 とアーカイブ公開 (1月-)

令和 5 年 10 月 25 日より令和 6 年 1 月 22 日にかけて実施したクラウドファンディング「記録は宝 熊本大学『松井家文書』宮本武蔵の記述と新たな発見を未来へ」では 400 万円以上の寄附をいただいた。この資金を基に「松井家文書」オリジナル史料の修復とデジタルアーカイブ公開プロジェクトを開始した。史料修復は令和 7 年 12 月に 4 件（8 通）を完成し、アーカイブシステム公開は令和 7 年 4 月をそれぞれ予定している。

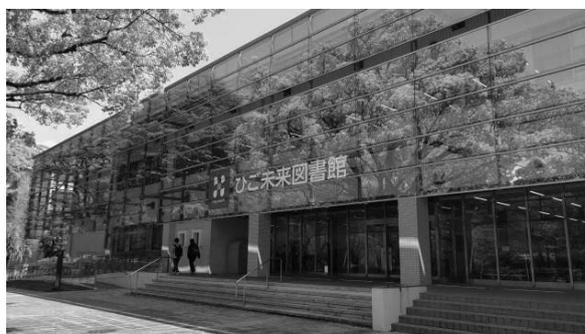
また、令和 6 年 9 月には返礼イベントの一つである古文書解説と図書館ツアーを実施した。ご支援者のうち返礼のツアーを申し込まれた 15 名が参加され、本学、稲葉永青文庫研究センター長による松井家文書 3 点の解説があり、その後活発な質疑応答が行われ、盛況のうちに終了した。



(稲葉センター長を囲み絵図に見入る支援者)

株式会社肥後銀行とネーミングライツ事業契約 締結 (3月)

熊本大学では、令和 6 年 3 月に株式会社肥後銀行とネーミングライツ事業契約を締結した。令和 6 年 4 月 1 日から熊本大学附属図書館中央館に愛称が設定され、中央館全体には「ひご未来図書館」、ラーニングコモンズ（アクティブエリア）は「HigoBank Learning Commons」と命名された。期間は令和 9 年 3 月 31 日まで。



(中央館全体 ひご未来図書館)



(ラーニングコモンズ [アクティブエリア])

HigoBank Learning Commons)

「菊池恵楓園絵画クラブ金陽会作品展」を開催 (5月)

熊本大学附属図書館医学系分館では、5月9日～5月15日に国立療養所菊池恵楓園の絵画クラブ金陽会の作品展を開催した。ハンセン病で隔離差別された方たちが独学で描いた作品24点を展示した。医学部学生のみならず、さまざまな方に絵画との対話を通じてハンセン病について心で学ぶ機会をと、絵画クラブ金陽会のキュレーターとの共同で企画した。

作品は1階ラーニングコモンズに展示され、開催期間中は医学部1年生及び4年生が授業の一環として鑑賞し、多彩な感想が寄せられた。また、学内や熊本県内のみならず県外からも観覧者があり、広く鑑賞の機会を提供できた。



(菊池恵楓園絵画クラブ金陽会作品展の様子)

第39回熊本大学附属図書館貴重資料展「小楠に届いた手紙—横井小楠文書にみる幕末群像—」を開催(11/2～11/4)

令和5年1月に、幕末維新期を代表する儒学者・政治家である横井小楠のご子孫の赤松秋雄様が「横井小楠文書」を本学に寄贈され、新たに貴重資料と認定した。

今回の貴重資料展は横井小楠にス

ポットをあて、新たに加わった横井小楠文書を中心に、計32点を展示・公開した。期間中には、人文社会科学部(文学系)三澤純教授および永青文庫研究センター今村直樹准教授による公開講演会 / 第18回永青文庫セミナーも開催した。

3日間限定の貴重資料展は、卒業生・一般市民を含む418名が訪れ盛況であった。



(貴重資料展の様子)

【佐賀大学】

1. 佐賀県「司書のつどい」での著書展示

令和6年2月7日にホテルニューオータニ佐賀で開催された佐賀県立図書館主催の「司書のつどい」において、令和5年8～9月に本館で開催した「SAGA むし結び」のコラボイベント「貴重書に見る昆虫の世界展」での関係教員の著書を展示した。



2. 学生選書ツアー開催

令和6年9月4日に5年ぶりとなる学生選書ツアーを開催した。13名の学生が参加し、紀伊國屋書店福岡本店に赴いて選書を実施し、各学生の専攻分野の学術書や小説など多様な図書約200冊が選書された。参加した学生からは「選書していたらあっという間に時間がたってしまった」「次回も参加したいと思う」などの声が聞かれ、終始和やかなイベントとなった。選書した図書は本館・医学分館の学生選書コーナーに展示しており、よく利用されている。



3. 図書館月間2024

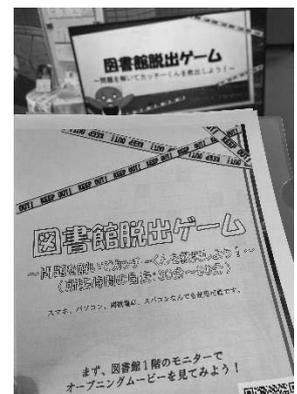
読書週間にあわせ毎年10月末から11月末の期間を「図書館月間」として、各種イベントを開催している。今年は、附属図書館本館エントランス

ホールにて「幕末の佐賀と学問—明治維新への道—」をテーマに当館で所蔵している貴重書コレクションから十数点を展示した。

11月6日には地域学歴史文化研究センター三ツ松准教授による展示解説が行われ、参加者からは本展示と『葉隠』との関連性や儒学とその拡がりや背景についての質問が数多く寄せられた。



また、学生向けの参加型企画として「図書館脱出ゲーム」を開催した。参加した学生からは「図書館のサービスを詳しく知る良い機会になった」「POPや問題作りに参加してみたい」との反応があった。



4. 常設貴重資料企画展開催

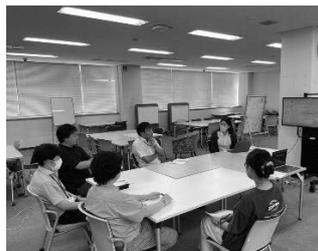
所蔵の貴重書「小城鍋島文庫」及び「市場直次郎コレクション」から、3か月ごとにテーマを選び、本館貴重書展示エリアで展示している。今年は次のテーマで企画展示を行った。

- ・小城藩日記にみる佐賀藩の種痘
- ・喃本と生き物
- ・大津絵節と鳥
- ・幕末の佐賀と学問
— 明治維新への道 —



5. 大学生のインターンシップおよび中学生の職場体験学習

大学生1名が5日間のインターンシップのため、中学生4名が2日間の職場体験学習のため来館し、図書館業務を行った。カウンター業務をはじめ、普段は目にしない発注、受入から目録、配架までの裏方の業務一つ一つに取り組んだ。大学図書館の業務の多さや作業の大変さを実感でき、また仕



事への取り組み方、進め方等について学べ、貴重な経験となったとの感想が寄せられた。



【長崎大学】

入退館システム更新

中央館、医学分館、経済学部分館の入退館システムを更新した。

ネーミングライツ除幕式

株式会社日本ベネックスとの間に4月1日にネーミングライツ契約を締結した。対象施設は中央図書館の3施設（ラーニングcommons・ギャラリー・ライブラリーラウンジ）である。契約期間は10年間で、得られた命名権料により教育研究環境の向上を図る。長崎大学初のネーミングライツ契約であり、学長、図書館長と日本ベネックス社長による看板の除幕式を7月30日に行った。



研究データポリシーの策定

長崎大学研究データポリシーおよびポリシー解説を、オープンアクセス推進本部会議での承認を経て、7月1日に学長裁定により策定し公開した。研究者が研究データを適切に管理し、可能な限り公開・利活用することを定めている。

メディアルームリニューアルオープン

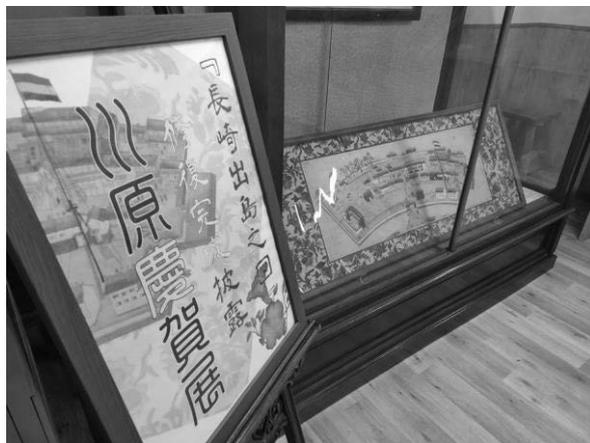
中央図書館のメディアルームは、ICT 基盤センターが管理するパソコンが設置され、ガイダンスや講習会などに活用されてきたが、ノートパソコンの必携化が進み、これまでの用途を見直す必要が生じてきたため、メディアルームの改修を行った。パソコンと什器を撤去、電気工事を行った上でカーペットを貼り換え、什器を新調した。机と椅子は全て可動式とし、ホワイトボードや、電源コンセントポール等を複数配置した。部屋の後方には、利用者から要望のあったソファ席やハイデスクも設置した。グループ学習や授業、イベントなど、様々な用途で活用できる部屋となった。



『長崎出島之図』修復完成披露 川原慶賀展

経済学部分館所蔵の『長崎出島之図』は、出島出入り絵師の川原慶賀が描いたと伝わっている。出島の全景を描いたもので、長崎市が進めている19世紀初頭の出島復元計画でも参考とされている史料である。幕末に描かれた本作品は、経年により傷み、汚れ、シミ等の劣化が見受けられたため、旧日蘭学会からの寄附金により、京都の専門業者によって修復を行った。修復が完了したため、

川原慶賀に関する資料 10 点とともに、4 月 4 日から 6 月 2 日まで展示を行った。一般市民を含む 699 名の見学者が訪れ、マスコミでも多数報道された。



映画「医学生 ガザへ行く」上映会開催

7 月 30 日に、医学分館では初めてとなる映画の無料上映会を開催した。上映会は、ユナイテッドピープル株式会社が実施する、全国 47 大学無料上映キャンペーンの一環として開催。午前と午後 1 回ずつ、計 2 回上映し、学内から計 31 名の参加があった。

本木昌造展—生誕二百年記念—

2024 年は本木昌造生誕 200 年にあたる。これを記念して、経済学部分館長崎学資料展示室において「本木昌造展」を開催した。この展示会は附属図書館の 3 館に所蔵する史料を一堂に集めて行う初めてのものであり、本木家文書と称する昌造自筆草稿（初公開）など全 24 点の展示を行った。9 月 3 日から 12 月 2 日までに一般市民を含む 251 名の見学者が訪れた。



全国図書館大会長崎大会の第2分科会開催

第110回全国図書館大会長崎大会が「図書館がつなぐ 人・まち・ミライ ～21世紀の出島(長崎)から～」というテーマのもと、11月30日、12月1日に長崎県庁をメイン会場として開催された。第2分科会「大学・短大・高専図書館」は長崎県大学図書館協議会(県内の8大学・2短大・1高専の図書館で構成)が担当し、長崎大学中央図書館のメディアルームが会場となった。

第2分科会のテーマは「学生のための大学図書館へ!～なんでも話そうチャンポン・ワークショップ～」。コロナ禍を経て大学図書館の機能や役割は大きな転換点にあるが、学生のための図書館という役割は時代が変わっても続いていく。分科会では、学生の視点からの大学図書館との関わりについて2件の事例発表、学生サービスを行う図書館職員の取り組みに関する3件の事例発表が行われ、その後関心のあるテーマに分かれてグループワークを行った。北海道から九州各県まで全国各地から約70名の図書館職員や学生の参加があり、「学生の利用状況を知ることができた」「広報についてたくさんヒントが得られた」「他館との情報交換ができて有意義だった」との感想がよせられた。

【福岡教育大学】

オープンライブラリーの実施

2月13日から3月29日の期間、中学生・高校生を対象として、オープンライブラリーを実施した。

2023年の第1回実施時に要望としてあげられた居住地域に関する制限を行わなかったことで期間中の来館者も増加し、前回実施時に利用目的の大半を占めていた「学習スペースとしての利用」だけでなく、館内施設の見学や利用を希望する参加者も多く見られた。



地域文化研究会公開講演会 グラバー図譜カレンダー5周年記念「干潟の海の魚たち」

附属図書館地域文化研究会では、グラバー図譜カレンダー発売5周年を記念して、12月5日に講演会「干潟の海の魚たち」を開催した。講師はカレンダー制作者の水産学部 山口敦子教授。研究対象である有明海の魚と生態系について、また「グラバー図譜」と、山口教授が現在行っている魚類・生態系研究プロジェクトによる最新の成果を織り交ぜたカレンダー制作秘話が語られた。参加者は一般市民を含み、対面で約60名、オンラインで約50名が講演に聞き入った。

「SDGs コーナー」の設置

4月より、図書館2階に「SDGs コーナー」を新設した。

本コーナーは、SDGsに興味を持った学生が気軽にSDGsについて知り、考えることができる場所として、また、これからの「持続可能な社会」を構築するための担い手を育てる教育を持続可能とするための道標となることを目指し、本学の生活文化サークル(Leaf)の協力により設置した。

コーナーには、SDGsの入門書をはじめ、「SDGs×教育」として、教育現場でどのようにSDGsを

取り入れるかについて学ぶことのできる資料を、また、持続可能な開発のための教育（ESD）の基本概念や実践方法について深く理解するための資料を多数配架している。そのほか、実際の授業でSDGsを取り上げるための授業プランの作成アイデア、SDGsの基礎知識を学ぶことのできるすごろくやサイコロなど、学生のアイデアをもとに作成された教材も多数展示している。



【宮崎大学】

オープンアクセスポリシーの制定

2024年4月、本学では「宮崎大学オープンアクセスポリシー」を策定して公開した。学術雑誌等に掲載された本学の研究者による研究成果を、宮崎大学学術情報リポジトリで公開することとなっている。

オープンアクセス誌掲載料支援制度を開始

2024年1月、オープンアクセス誌掲載料支援制度を開始した。SpringerNature社およびElsevier社の電子ジャーナル転換契約（Read & Publish契約）に伴うもので、著者は一定の著者負担金を負担することで論文をオープンアクセスで出版することができる。

「教科書ってなんだろう」本学教員研究成果展

12月12日～25日に、本館正面玄関前展示ブ



「教科書ってなんだろう」展

ースにて、本学教員研究成果展を開催した。学内で募集を行い、応募のあった教員の研究成果物を展示した。

視覚障がい学生に対する支援体制の整備

令和6年度に視覚障がい学生が入学したことを機に、本館の館内設備や支援体制を整備した。

館内の主要な動線上に、点字マットや誘導カーペットを敷設した。また、資料利用を支援するため、従来から設置していた音声拡大読書器に加え、蔵書検索用PCに画面読み上げソフトを導入した。

さらに、授業で使用する教科書・参考書のうち、出版社等から読み上げ用テキストデータの提供が受けられないものについて、図書館職員がスキャナおよびOCRソフトを用いてテキストデータを作成した。



入口からの動線に点字マット等を敷設

【琉球大学】

令和6年度国立大学法人琉球大学地域貢献活動表彰を受賞

当館保存公開係が令和6年度国立大学法人琉球大学地域貢献活動表彰で「地域貢献表彰」を受賞しました。この表彰は、「地域の発展に貢献するとともに琉球大学の名誉を高めるための取組を実施している教職員の業績を讃え、その優れた取組を学内外に広め、本学における地域貢献活動を一層推進すること」を目的に実施されています。

保存公開係は、当館が所蔵する文化資源の貴重資料を地域社会へ還元することを企図し、貴重資料の展示会を学内で平成6(1994)年から開催し、平成14(2002)年からは学外開催へと展開しています。また、令和5(2023)年から「おでかけ貴重書、〇〇へ行く!」(※「〇〇」は開催地名)と題したミニ展示会を琉球列島内のさまざまな地域で開催しました。その他、SNS(X・Instagram)やYouTubeを活用した情報発信や、収集した貴重な沖縄関係資料を電子化し、広く一般に公開するなどの活動を実施しています。

今回の表彰では、「大学図書館の使命としての資料の収集及び保存に加え、その積極的な公開を行うことについては、地域資料や貴重本などに関心を示す人々にとって望まれ続ける活動であり、本学の評価を高めていると言える」と評価されました。

今後、これまで行ってきた取組のブラッシュアップを図りながら、当館が主催する地域連携事業のさらなる認知度向上と地域ステークホルダーとの継続的な関係性の構築を目指していきます。



琉球大学地域貢献活動表彰の賞状と盾

令和6年度学外企画展を開催

当館は、毎年本学所蔵資料を地域貢献の一環として公開する企画展を開催しています。令和6(2024)年は、「琉大資料がつなぐあやはしうるまの今昔」と題し、本学の博物館(風樹館)、島嶼地域科学研究所と考古学研究室の展示協力を得ながら、うるま市教育委員会と共催でうるま市立海の文化資料館にて10月5日から10月27日の日程で開催しました。

本展では「うるまの今昔」を主題に、「琉球大学の今昔」「うるま市の海と自然」「あやはしがつなぐ沖縄イーストコースト」という3つのテーマを設定、それぞれに本学所蔵資料の中から実物標本(土器遺物、動物標本など)・貴重書ほかを出展しました。特に当館からは、『椿説弓張月版画』『おもしろさうし』など、勝連の英雄阿麻和利と伊波普猷に関する貴重な資料を展示しました。

また、本学考古学研究室所蔵資料(出土遺物、発掘報告書など)、博物館(風樹館)よりジュゴンの骨格標本などの実物資料数点とパネルなどを展示しました。さらに、関連イベントとして2回のワークショップを開催しました。

期間中は過去最高となる3,054名の見学者が訪れました。見学者からは「地域の歴史を知るいい機会となった」「子ども用の解説があって良かった」ほか多数の好意的な感想が寄せられました。



学外企画展オープニングセレモニー

館内企画展「読む・知る・つながる 障がい学生支援室」を開催

当館では10月1日～10月31日まで、本学障がい学生支援室と連携し、本館2階ラーニング・コモンズを会場に、館内企画展「読む・知る・つながる 障がい学生支援室」を開催しました。

琉球大学建学の精神は「自由・平等、平和・寛容」であり、障がいのある人もない人も同じように教育・研究に専念できる大学づくりを目指しています。障がい学生支援室は障がいのある人や、学業を修めるにあたって合理的な配慮を希望する人のための相談窓口です。本企画展では、障がい学生支援室の活動内容を、「障がい」「法律・制度」「支援」「教育」「多様性」「キャリア」の6つのキーワードを基に、同室作成のパネルや小冊子、動画コンテンツ等で紹介しました。その他、ボランティ

アの学生作成によるポスターや、本企画展のテーマに関連する図書館資料も展示しました。

今回の企画展が、障がい学生支援への関心を高めるきっかけになればと考えています。



館内企画展の展示

図 書 館 活 動 報 告

福岡県・佐賀県図書館協議会

【令和5年度総会（書面会議）】

日 時：令和6年5月31日（金）～6月14日（金）

当番館：久留米工業大学学術情報センター

投票会員：37 館

協議事項

- (1) 令和5年度決算報告および監査報告
- (2) 令和6年度予算（案）
- (3) 次期理事館および監事館の選出
- (4) 福岡県図書館協会理事の選出

地区研究会報告

- (1) 北部地区
九州共立大学附属図書館
- (2) 福岡地区
西南学院大学図書館

(3) 南部地区

西九州大学短期大学附属図書館
聖マリア学院大学図書館

承合事項

- (1) より魅力的な「選書ツアー」についての課題と工夫について
- (2) 研究データポリシー実施要領について
- (3) researchmap 登録状況について
- (4) APC 大学負担状況について
- (5) 転換契約について
- (6) 電子書籍導入に関する課題

その他報告事項

- (1) 退会届について

福岡県・佐賀県大学図書館協議会北部地区研究会

【令和6年度研究会（書面回議）】

日 時：令和6年7月25日（木）

会 場：書面（メール）回議

出席者：14 館

当番館：九州工業大学附属図書館

議 事

(1) 審議事項

- 1) 令和5年度決算報告および監査報告
- 2) 令和6年度予算案
- 3) 令和8年度福岡県・佐賀県大学図書館協議会北部地区研究会当番館の選出

(2) 協議事項

- 1) 福岡県・佐賀県大学図書館協議会北部地区研究会今後の在り方について

- 2) 福岡県・佐賀県大学図書館協議会北部地区研究会内規および運用についての申し合わせ事項の修正について

(3) 承合事項

- 1) 新聞の管理方法について【福岡県立大学】
- 2) 書架の狭隘化対策について【九州国際大学】

(4) 確認事項

- 1) 福岡県・佐賀県大学図書館協議会北部地区研究会 加盟館利用案内
- 2) 令和7年度福岡県・佐賀県大学図書館協議会北部地区研究会当番館確認
- 3) 令和7年度福岡県・佐賀県大学図書館協議会総会理事館確認

2024（令和6）年度 福岡県・佐賀県大学図書館協議会
福岡地区研究会 記録

日 時：2024（令和6）年 11 月 8 日（金）13：30～
16：30

会 場：福岡教育大学学術情報センター図書館

出席者：8 館 20 名

当番館：福岡教育大学学術情報センター図書館
九州情報大学附属図書館
福岡女学院大学図書館

テーマ：「オープンサイエンスを見据えた大学図書館の業務再構築」

1. 講演

演 題：「機関リポジトリ業務における IT スキルの活用」

講演者：九州大学附属図書館 e リソース課
リポジトリ係長 芦北 卓也 氏

2. グループワーク

1. 機関リポジトリ／即時オープンアクセスの取り組みについて
2. 図書館利用者減少・利用率アップの取り組みについて／電子ブックの利用促進について
3. これからの大学図書館に求められる「場」や「サービス」について

4. 大学図書館員のスキルアップについて
グループ発表（各グループ3分程度）

3. 承合事項

1. 即時オープンアクセスへの対応に係る今後の方針について（提案大学：福岡女子大学）
2. 個人研究費により購入した図書等を「備品」と「消耗品」とに仕分ける諸規程・内規等、その他ルールについて
（提案大学：福岡女学院大学）
3. 書架収容率の算出方法について
（提案大学：福岡女学院大学）
4. 外国雑誌等の価格の上昇への対応について
（提案大学：福岡女学院大学）
5. 地域協働型の図書館ネットワークの構築について（提案大学：福岡女学院大学）

4. その他

2025（令和7）年度福岡地区研究会当番大学の紹介

※閉会后、福岡教育大学学術情報センター図書館
見学

令和5年度 福岡県・佐賀県大学図書館協議会
南部地区研究会記録

【令和5年 第2回研究会】

日 時：令和6年2月20日（火）

会 場：聖マリア学院大学7号館

1階ロイ・アカデミアホール

出席者：12館18名

当番館：聖マリア学院大学図書館

議 事

(1) 研究テーマ

- 1) 「コロナ禍によって変化する図書館運営
ー利用者サービスー」

(提出館：聖マリア学院大学図書館)

(2) 協議事項

令和6年度研究テーマを協議、以下の2テーマとした。

- 1) 第1回「オンラインサービスを活用した利用者サービス、特に文献検索ガイダンスについて」
2) 第2回「オープンアクセス、オープンサ

イエンス等への取組みについて」

(3) 承合事項

- 1) 延滞図書督促方法について
(提出館：佐賀大学附属図書館)
2) 蔵書点検について
(提出館：佐賀大学附属図書館)

(4) 講演

演題：「設立理念の源」

講師：聖マリア学院大学

学長 井手 三郎 氏

(5) 令和5年度南部地区研究会のまとめについて

(6) 総会

- 1) 令和5年度決算について
2) 令和6年度予算書(案)について
3) 令和6年度幹事館及び当番館の選出について
4) 令和6年度福岡県・佐賀県大学図書館協議会理事館・監事館の選出について

【令和6年 第1回研究会】

日 時：令和6年9月20日（金）

13:30～16:10

会 場：有明工業高等専門学校 管理棟 2階大

会議室及び図書館棟2階図書館閲覧室

出席者：11館18名

議 事

(1) 研究テーマ

- 1) オンラインサービスを活用した利用者サービス、特に文献検索ガイダンスについて

(提出館：九州大谷短期大学図書館)

(2) 承合事項

- 1) 地域開放における学外者の受入について
(提出館：聖マリア学院大学図書館)
2) 図書の配架の工夫について
(提出館：有明工業高等専門学校図書館)

(3) 講演

演題：「図書館で授業」

講師：有明工業高等専門学校

図書館長 一般教育科

教授 村田 和穂氏

(4) 次期当番館の確認

佐賀県大学図書館協議会

令和6年度佐賀県大学図書館協議会総会

日時：令和6年8月27日（火）13：30～15：15

場所：西九州大学附属図書館
（神埼キャンパス）

出席者：4館6名

議事

1. 協議事項

- (1) 令和5年度決算報告について
- (2) 令和6年度予算（案）について
- (3) 令和7年度幹事館および監査館の選出について

2. 報告事項

- (1) 各大学図書館の年間活動状況について
- (2) 各大学図書館からの補助金活動状況について
- (3) 佐賀県・読書推進運動協議会・総会の報告について
- (4) 九州龍谷短期大学の退会について
- (5) その他

3. 承合事項

- (1) 検定教科書の取り扱いについて（提出館：西九州大学短期大学部附属図書館）

長崎県大学図書館協議会

1. 令和6年度総会

日時：令和6年8月19日（月）13：30～14：30

会場：オンライン開催（Zoom）

出席者：11校12館

オブザーバー：長崎県立長崎図書館

議題

- (1) 令和5年度事業報告・決算報告・監査報告について
- (2) 令和6年度・7年度役員館等の選出（案）について
- (3) 令和6年度事業計画（案）及び予算（案）について
- (4) 会則の一部改正について
- (5) 全国図書館大会第2分科会の企画（案）について

報告事項

- (1) 各館の当面する諸問題について

2. 研修事業

長崎県公共図書館等協議会との合同実務研修会

日時：令和6年7月8日（月）10：20～12：00、
13：00～16：00

会場：ミライ on 図書館、WEB参加可

テーマ1：「第五次長崎県子ども読書活動推進計画
について」

講師：永田 春美 氏（長崎県教育庁生涯学習課県
民学習班係長（社会教育主事））

テーマ2：「読書バリアフリーサービスについて」

講師：佐藤 聖一 氏（埼玉県立久喜図書館バリア
フリー読書推進担当（障害者サービス）司
書主幹）

3. Library Lovers' Nagasaki 2024

期間：令和6年10月～11月

参加校：11校12館

長崎県大学図書館協議会メーリングリスト上で意見を集約し、景品を作成。合同イベントは行わず、10月から11月に各館独自イベント開催。

4. 第110回全国図書館大会長崎大会

第110回全国図書館大会長崎大会（令和6年11月30日～12月1日）開催への協力及び第2分科会の運営

令和6年2月28日 第2回準備委員会参加

令和6年4月23日 第1回実行委員会参加

令和6年11月11日 第2回実行委員会参加
令和6年12月1日 大会2日目 第2分科会開催

参加者：73名（スタッフ含む）

熊本県大学図書館協議会

1. 令和6(2024)年度総会

日 時：令和6(2024)年6月24日（月）

会 場：熊本学園大学

当番館：熊本学園大学附属図書館

出席者：12館（11校）24名

審議事項：

- (1) 令和5(2023)年度総会議事報告書の確認
- (2) 令和5(2023)年度事業報告について
- (3) 令和5(2023)年度収支決算並びに監査報告について
- (4) 令和6(2024)年度事業計画（案）及び予算（案）について
- (5) 次年度世話館について

照会事項：

- (1) 図書館の貸出と貸出区分と延長期間について
- (2) 利用者に対する Web サービス・メールなどのサービスについて
- (3) 貴重資料のデジタルアーカイブ化について
- (4) 図書館資料の撮影について
- (5) 紛失図書館の除籍と除籍後に発見された図書館の処理について
- (6) 受入不可となった寄贈資料の取り扱いについて

その他：

以下の内容で意見交換会を実施

- (1) 今年度研修会の実施内容・形態について
- (2) 危機管理（夜間開館・土日開館）、不審者対応マニュアルについて
- (3) 教員の研究用図書館の備品取り扱い、引き上げ、返却などについて
- (4) 電子ブックの活用について

研修会

日 時：令和6(2024)年9月18日（水）

会 場：こども本の森 熊本・熊本県立図書館

出席者：10館22名

内 容：

- 「こども本の森 熊本」見学
こども本の森 熊本・館長の飯塚暁子氏による館内説明。
 - 熊本県立図書館・閉架書庫見学
 - 意見交換会
以下の内容で意見交換会を実施
- (1) 国が進める学術論文等の即時オープンアクセス化に向けた対応状況・今後の予定
 - (2) 学生の図書館利用の動向等や図書館の利用促進の取り組み等について
 - (3) 図書館内で「発言を伴うオンライン授業」等に参加する学生に対するの対策
 - (4) 平日・土日の開館時間について、および開館にあたっての人員体制・配置について

大分県大学図書館協議会

1. 令和5年度研修会

日 時：令和6年2月19日（月）13:30～

会 場：杵築市立図書館

演 題：「本はナマモノ 図書館は地域のインフラ」

講 師：栗屋 文世 氏（杵築市立図書館長）

講 師：島岡 成治 氏（日本文理大学教授）

協議事項：

- (1) 令和5年度事業報告について
- (2) 令和5年度決算報告（案）及び監査報告（案）について
- (3) 令和6年度事業計画（案）について
- (4) 令和6年度予算（案）について
- (5) 令和7年度役員館（案）及び当番館（案）について
- (6) 本会運営経費繰越金の取扱いや会費の徴収方法等について

2. 令和6年度総会

日 時：令和6年9月30日（月）13:30～

当番館：日本文理大学図書館

会 場：日本文理大学図書館

出席館：8館及び大分県立図書館（オブザーバ）

講演会：

演 題：「大分における磯崎新の2つの図書館建築」

照合事項：

- (1) アフターコロナの利用状況について
- 総会終了後、情報交換会を開催

宮崎県大学図書館協議会

1. 令和6年度 宮崎県大学図書館協議会総会

日 時：令和6年9月12日（木）

14:00～16:00

場 所：南九州学園図書館

本館2階 会議室

形 態：対面およびオンライン

出席者：9館18名、公共図書館1名、宮崎県生涯学習課2名（オブザーバー計3名）

議 題：

報告事項

- (1) 令和5年度 決算報告及び監査報告
- (2) 令和6年度 事業計画及び予算について

協議事項

- (1) オープンアクセスへの対応について

- (2) 「宮崎の新しい図書館ネットワーク」基本構想について

- (3) 次期会長館の選出について

承合事項

- (1) 即時オープンアクセス義務化への対応状況について
- (2) 電動式の移動棚について
- (3) 図書館に関する案件の話し合いや学内への周知をする際の流れについて

確認事項

- (1) 次年度当番館・監事館ローテーションについて

鹿児島県大学図書館協議会活動報告

【第45回鹿児島県大学図書館協議会総会(書面会議)】

日時: 令和6年7月12日(金)～7月19日(金)

当番館: 鹿児島純心女子短期大学

出席者: 13館(オブザーバー館2館含む)

議事

報告事項

1. 役員館について
2. 会費について

審議事項

1. 令和5年度会務報告
2. 令和5年度決算報告及び監査報告
3. 令和6年度事業計画
 - (1) 研修委員会活動計画について
 - (2) 広報委員会活動計画について
4. 令和6年度予算(案)について

承合事項

1. 学外利用者として中学生を受け入れている大

学図書館の受け入れ条件等について

【講演会】

日時: 令和6年11月29日(金) 13:10～14:40

会場: Web開催

テーマ: 「子どもの本の夜明けと鹿児島
～八島太郎と椋鳩十～

八島太郎没後30年・椋鳩十生誕120年」

講師: 池水 聖子 氏

(一般財団法人 鹿児島県青年会館 艸舎 理事)

【研修会】

日時: 令和6年11月29日(金) 15:00～16:10

会場: Web開催

テーマ: 「電子書籍と電子図書館について」

講師: 荒川 郁美 氏

(紀伊國屋書店 電子書籍専門部署

デジタル情報営業部 電子図書館サービス課)

沖縄県大学図書館協議会

1. 【2023年度研修会】

日時: 令和6年3月8日(金) 14:00～17:00

会場: 琉球大学附属図書館本館2階

ラーニング・コモンズ

テーマ: 大学図書館員と情報セキュリティ

講師: 升井 洋志 (北見工業大学)

対象: 沖縄県内大学等図書館職員

情報セキュリティ関係部署職員

審議事項

- (1) 2023年度事業報告
- (2) 2023年度決算報告
- (3) 2023年度監査報告
- (4) 2024年度事業計画(案)
- (5) 2024年度予算(案)
- (6) 2025年度の当番館・2024年度会計の監査館の選出
- (7) その他

2. 【2024年度(第52回)総会】

日時: 令和6年9月19日(木) 14:00～17:15

場所: 沖縄女子短期大学 本館3階 303教室

当番館: 沖縄女子短期大学

出席者: 10館 22名

講演

演題: 短期大学生における社会人基礎力の育成とメンタルヘルスの意識向上に向けて

講師: 金城 靖子 氏 (沖縄女子短期大学長)

令和6年度九州地区国立大学図書館協会実務者連絡会議

日時：令和6年10月11日（金）14:00～16:00

場所：鹿児島大学附属図書館5階ライブラリー
ホール

出席者：11館16名

協議事項

(1) ラーニングcommonsにおける人的支援の今後のあり方について

承合事項

- (1) 新入生向けガイダンス・情報リテラシー授業の実施方法について
- (2) ILL 無償化（大学負担）対応の実施の可否について
- (3) 図書館システムに登録を行わない消耗品扱いの図書の処理方法について
- (4) 電子リソースの講習会について、実施の有無、実施体制、電子リソースの種類などについてご教示ください。
- (5) 入退館ゲートシステムのログデータの活用について
- (6) 機関リポジトリに論文等を登録する際のDOI

もしくは handle の付与について申合せ等の作成をしていますか。

- (7) 図書の管理について、どのような管理方法でおこなっているかご教示ください。
- (8) 図書館で学修支援としてオンライン相談を行っている場合、使用ツール、年間の相談件数、対応している相談内容、広報の方法についてご教示ください。
- (9) 館内に企業等の広報用にデジタルサイネージを設置している場合、土地貸与や電気代の条件等、どのような運用をしているか事例がありましたらご教示ください。
- (10) 研究室貸出・研究室備付の図書について、使用している教員が紛失した際の手続きについてご教示ください。弁償を行っている場合は弁償の手続きについてもご教示ください。

その他

次年度の会議テーマについて

令和6年度九州地区国立大学附属図書館事務（部・課）長会議

日時：令和6年12月5日（木）13:15～14:15

会場：九州大学附属図書館 中央図書館
4階会議室及びMicrosoft Teams

出席者：11大学22名

・報告

1. 令和6年度九州地区国立大学図書館協会実務者連絡会議について

2. 令和6年度九州地区国立大学法人等職員採用図書系専門試験の実施状況について

・協議題

1. 今後の九州地区における国立大学附属図書館に関する会議について
- ### ・情報共有・意見交換
1. OA 推進等の現況について

令和6年度九州地区国立大学附属図書館館長懇談会

日時：令和6年12月5日（木）13:15～14:15

場所：九州大学附属図書館 中央図書館
4階館長室及びMicrosoft Teams

出席者：10大学10名

議事：

・テーマ

1. 図書館が直面している課題について：電子

ジャーナル・転換契約、OA義務化、研究データ、図書館運営費の確保等

2. 今後の九州地区における国立大学附属図書館に関する会議について

令和6年度九州地区国立大学附属図書館館長・事務（部・課）長会議

日時：令和6年12月5日（木）14:45～16:15

会場：九州大学附属図書館 中央図書館
4階会議室及びMicrosoft teams

出席者：11大学30名

議事：

・報告

1. 館長懇談会報告
2. 事務（部・課）長会議報告
3. 令和6年度国立大学図書館協会秋季理事会報告
4. 第110回全国図書館大会長崎大会第2分科会（大学・短大・高専図書館）開催について

5. 令和7年度九州地区大学図書館協議会総会の開催方法について

・協議題

1. 令和7年度九州地区国立大学図書館協会総会当番校及び九州地区大学図書館協議会役員館の選出について
2. 令和7年度九州地区国立大学図書館協会総会の開催について
3. 第72回国立大学図書館協会総会の研究集会テーマについて

・意見交換・情報共有

会議終了後、中央図書館館内見学ツアーを実施した。

事務局報告

令和6年度九州地区大学図書館協議会 幹事館・副幹事館会議

令和6年11月26日(火)に書面回議により開催の結果、「第75回九州地区大学図書館協議会総会記録(案)」及び規則(申し合わせ)の施行(案)等について審議の結果、意見等の申し出がなかったため、原案のとおり承認された。

議題

1. 第75回九州地区大学図書館協議会総会記録(案)について

今年度当番館 鹿児島大学附属図書館から、第75回九州地区大学図書館協議会総会記録(案)の提出がありましたので、内容をご確認ください。

2. 「九州地区大学図書館協議会の後援名義に関する申し合わせ」(案)について

同協議会における後援名義の取り扱いについては、これまで申し合わせ等の定めがないことから、新たに後援名義に関する申し合わせ(案)を施行してよいか、内容をご確認ください。

なお、ご了承をいただければ、本件は、九州地区大学図書館協議会総会において付議することといたします。

3. 「九州地区大学図書館協議会メーリングリストの運用に関する申し合わせ」(案)について

同協議会におけるメーリングリストの運用に関しては、これまで申し合わせ等の定めがないことから、新たに運用に関する申し合わせ(案)施行してよいか、内容をご確認ください。

なお、ご了承をいただければ、本件

は、九州地区大学図書館協議会総会において付議することといたします。

4. 「九州地区大学図書館協議会ホームページの運用について」(改正案)について

同協議会のホームページの運用に関する申し合わせ事項が、現状の利用に則していないことから、改正してよいか、内容をご確認ください。

なお、ご了承をいただければ、本件は、九州地区大学図書館協議会総会において報告することといたします。

5. その他

① 九州地区大学図書館協議会総会における協議事項等について

ご意見等がおありでしたらお知らせください。なお、協議事項等は別途第76回総会当番館(九州大学附属図書館)から照会します。

② 副議長について

総会における副議長は、平成11年度からの副幹事館制度の発足により、副幹事館の図書館長により以下の順番で執り行われております。

なお、令和7年度の総会は、ハイブリッド方式(現地出席若しくはオンライン参加)での開催を予定しておりますので、副幹事館のうちから、いずれかの図書館長に副議長をお願いいたします。

<参考>

平成11年度(公立大学部会副幹事館長)

福岡女子大学

平成12年度(私立大学部会副幹事館長)

鹿児島国際大学

平成13年度(私立短大部会副幹事館長)

沖縄キリスト教短期大学

平成14年度(国立大学部会副幹事館長)

福岡教育大学

平成15年度(公立大学部会副幹事館長)

宮崎公立大学

平成16年度(私立大学部会副幹事館長)

筑紫女学園大学・短期大学

平成17年度(私立大学部会副幹事館長)

九州東海大学

平成18年度(国立大学部会副幹事館長)

長崎大学

平成19年度(国立大学部会副幹事館長)

熊本大学

平成20年度(公立大学部会副幹事館長)

宮崎県立看護大学

平成21年度(私立大学部会副幹事館長)

九州産業大学

平成22年度(国立大学部会副幹事館長)

大分大学

平成23年度(私立大学部会副幹事館長)

熊本学園大学

平成24年度(公立大学部会副幹事館長)

長崎県立大学

平成25年度(私立大学部会副幹事館長)

久留米大学

平成26年度(公立大学部会副幹事館長)

鹿児島県立短期大学

平成27年度(私立大学部会副幹事館長)

沖縄国際大学

平成28年度(私立短大部会副幹事館長)

鹿児島純心女子短期大学

平成29年度(公立大学部会副幹事館長)

九州歯科大学

平成30年度(私立大学部会副幹事館長)

九州国際大学

平成31(令和元)年度

(公立大学部会副幹事館長)

宮崎公立大学

令和2年度(私立大学部会副幹事館長)

福岡工業大学

令和3年度(コロナの影響により書面回議のため選出しない)

令和4年度(コロナの影響により書面回議のため選出しない)

令和5年度(オンライン会議若しくは書面回議のため選出しない)

令和6年度(オンライン会議若しくは書面回議のため選出しない)

③ 副幹事館、表彰委員館、編集委員館の交代について

令和7年度は、副幹事館を選出していただく年(任期2年間)ですので、各部会において当番館のご検討をお願いいたします。

また、表彰委員館、編集委員館の任期は1年間(再任は妨げない。)ですので、各部会において当番館のご検討をお願いいたします。

以上

第75回九州地区大学図書館協議会総会（書面回議）記録

日 程 表

- | | |
|---|------------------------------|
| <p>1. 書面回議開催通知日
令和6年6月6日（木）</p> <p>2. 回答期限
令和6年6月19日（水）</p> | <p>3. 当番館
鹿児島大学附属図書館</p> |
|---|------------------------------|

第75回九州地区大学図書館協議会総会（書面回議）議事要録

1. 報告事項

(1) 永年勤続表彰

「九州地区大学図書館協議会表彰規程」
(参考)に基づき、表彰を受ける者を各大

学へ照会したところ、表彰規程の第2条
1号（勤務期間20年に達した者）に12
名の推薦があり、表彰委員会による審査
の結果、全員の表彰を決定した。

①) 勤務期間20年に達した者（表彰規程第2条第1号）

(所属機関、氏名)

	表彰の区分	所属大学名	氏名
1	第2条第1項	九州大学附属図書館	山根 泰志
2	〃	九州大学附属図書館	斎藤 友利子
3	〃	九州大学附属図書館	城戸 弦太
4	〃	九州大学附属図書館	森 永 恵子
5	〃	九州大学附属図書館	吉田 陽子
6	〃	九州大学附属図書館	天野 美保
7	〃	九州大学附属図書館	長野 玲奈
8	〃	九州大学附属図書館	宮尾 由美子
9	〃	長崎大学附属図書館	浦 さやか
10	〃	琉球大学附属図書館	赤嶺 良子
11	〃	九州共立大学附属図書館	上井 由美子
12	〃	熊本学園大学付属図書館	辻 佳代

(2) 幹事館報告

資料に基づき、本協議会の活動について報告した。

(3) 部会報告（国立、公立、私立）

資料に基づき、各部会活動等について報告した。

2. 決算・予算

(1) 令和5年度決算及び監査報告が了承された。

(2) 令和6年度予算（案）が了承された。

3. 承合事項

資料に基づき、各大学より提案のあった承合事項について報告した。

4. 次期役員館・当番館の選出

- (1) 幹事館を九州大学とすることについて了承された。
- (2) 幹事館以外の次期役員館と当番館について以下のとおり了承された。

	大学名
副幹事館	国立大学部会： 福岡教育大学 公立大学部会： 熊本県立大学 私立大学部会： 久留米大学
監査館	福岡教育大学
表彰委員館	国立大学部会： 熊本大学 公立大学部会： 沖縄県立看護大学 私立大学部会： 西九州大学
編集委員館	国立大学部会： 大分大学 公立大学部会： 北九州市立大学 私立大学部会： 別府大学
次期当番館 (令和7年度)	福岡地区： 九州大学

令和5年度決算

一般会計

(単位：円)

収入の部			支出の部		
科目	予算	決算	科目	予算	決算
会費	438,000	438,000	総会運営費	0	0
協議会誌代	116,800	116,800	協議会誌発行費	250,000	242,000
広告掲載料	250,000	230,000	事務費	35,000	33,794
広告掲載料	230,000	50,000	積立金会計へ繰入	749,800	559,006
小計	1,034,800	834,800	小計	1,034,800	834,800

積立金会計

(単位：円)

収入の部			支出の部		
科目	予算	決算	科目	予算	決算
前年度繰越金	1,475,698	1,475,698	表彰経費	75,000	81,312
預金利息	13	17	研修会経費	0	0
一般会計から繰入	749,800	559,006	研修会補助費	180,000	90,000
			次年度繰越金	1,970,511	1,863,409
小計	2,225,511	2,034,721	小計	2,225,511	2,034,721

令和6年3月22日 会計監査実施済
 監査館 中村学園大学メディアセンター (図書館)
 学術情報部課長

馬場 文晴



令和6年度予算(案)

一般会計

(単位：円)

収入の部			支出の部		
科目	予算	備考	科目	予算	備考
会費	438,000	@6,000円×73館	総会運営費	0	オンライン会議又は書面回議 当番館：鹿児島大学
協議会誌代	111,200	第66号(令和5年度)@800円×139部	協議会誌発行費	250,000	第67号(令和6年度)200部
広告掲載料	250,000	15社 第67号(令和6年度)見込み分	事務費	35,000	会誌送料、送金手数料、消耗品費
広告掲載料	200,000	12社 第66号(令和5年度)未収分	積立金会計へ繰入	714,200	研修事業補助等
小計	999,200		小計	999,200	

積立金会計

(単位：円)

収入の部			支出の部		
科目	予算	備考	科目	予算	備考
前年度繰越金	1,863,409		表彰経費	75,000	令和5年度予算額を参照
預金利息	17		研修会経費	50,000	総会講演会謝金
一般会計から繰入	714,200		研修会補助費	180,000	各県協議会研修経費補助(9地区×20,000円)
			次年度繰越金	2,272,626	
小計	2,577,626		小計	2,577,626	

九州地区大学図書館協議会会則

昭和 25 年 11 月 27 日施行
昭和 32 年 9 月 12 日改正
昭和 41 年 6 月 2 日改正
昭和 51 年 4 月 23 日改正
昭和 55 年 5 月 9 日改正
平成 9 年 4 月 25 日改正
平成 10 年 4 月 24 日改正
平成 20 年 4 月 18 日改正
令和 5 年 6 月 22 日改正

(名 称)

第 1 条 本会は九州地区大学図書館協議会と称する。

(会 員)

第 2 条 本会は別に定める資格を有する九州地区の大学図書館等（以下「大学図書館」という。）をもって組織する。

会員は大学等の機関をもって一会員とする。

本会に入会するには、所定の入会申込書を提出し、総会の議決を経るものとする。

(目 的)

第 3 条 本会は会員の緊密な連絡と協力によって、大学図書館の施設、管理及び運営等の健全な進歩発達をはかり、会員相互の親睦をはかることを目的とする。

(事 業)

第 4 条 本会は前条の目的を達するためにつぎの事業を行う。

1. 図書館の研究・調査に関する事項
2. 研究会・講習会等の開催に関する事項
3. 日本図書館協会等の連絡提携に関する事項
4. 学術図書文献の調査及び総合目録の調整に関する事項
5. 学術図書文献の収集、保存及び活用に関する事項
6. その他必要とする事項

(役 員)

第 5 条 本会に幹事館、副幹事館及び監査館を置く。

幹事館は会務を総括し、本会を代表する。

副幹事館は、幹事館とともに会務を処理する。

監査館は、会計を監査する。

第 6 条 幹事館は、総会で互選し、その任期は 2 年とする。但し、再選を妨げない。

副幹事館は、国立大学、公立大学及び私立大学の各部会からそれぞれ 1 館を総会で互選し、その任期は 2 年とする。但し、再選を妨げない。

監査館は、総会で互選し、その任期は 1 年とする。但し、再選できない。

(事務所)

第 7 条 本会の事務所は幹事館内におく。

(会 議)

第 8 条 本会は毎年 1 回総会を開催する。但し必要に応じ会員の 3 分の 1 以上から請求があった場合は、臨時総会を開くことができる。

第 9 条 総会の運営は、輪番に定められた当番館が幹事館と協議してこれに当たる。

第 10 条 総会は次の事項を行う。

1. 事業計画
2. 決算の承認
3. 予算の決定
4. 幹事館、副幹事館及び監査館の選任及び当番館の決定
5. その他必要なる事項の決定

第 11 条 総会の票決権は 1 大学等の機関につき 1 票とし、議決は多数決による。可否同数の時は幹事館の決するところによる。

(会 計)

第 12 条 本会の経費は会費その他をもってあてる。

第 13 条 会費は年額 6,000 円とし、毎会計年度始めに幹事館に納入するものとする。

第 14 条 本会の予算は毎年総会の議決を経て決定し、決算は監査を受け次の総会において承認を得なければならぬ。

第 15 条 本会の会計年度は 4 月 1 日に始まり、翌年 3 月 31 日に終る。

(会則変更)

第 16 条 本会則の変更は総会にはからなければならない。その決定には出席会員の 3 分の 2 以上の賛成を必要とする。

九州地区大学図書館協議会総会運営に関する細則

昭和 32 年 9 月 12 日決定

昭和 37 年 10 月 2 日改正

昭和 48 年 5 月 11 日改正

昭和 53 年 5 月 12 日改正

平成 11 年 4 月 23 日改正

平成 26 年 4 月 18 日改正

1. 本協議会総会の運営は簡素を尊重し、輪番に当番を引受け易くするためにこの細則を定める。
2. 総会の議長は当番館の館長とする。
3. 議長は副議長を指名することができる。
4. 当番館は幹事館及び副幹事館と協議の上、2ヶ月前に会員宛日程・場所等を通知し、出席者の職氏名及び協議事項・承合事項の提出を求める招請状を送ること。
但し、緊急を要する臨時総会等の場合はこの限りでない。

5. 当番館は協議事項をまとめ、議題として提案理由、又は簡単な説明を付して、出席者に配付し、調査研究の余地を充分与えるように努めること。
6. 当番館は総会の議事録を作成し、会員に配付するものとする。
7. 幹事館及び副幹事館は当番館と協力して、総会で決議された要求事項を貫徹するよう努力する。
8. 総会と同時に会員のための研修会を行うものとする。
9. 会員以外の出席を許すことがある。但し票決権はない。
10. 当番館は加盟館の所属県を次の三地区に分け、地区ごとに等しく持ち廻る。

福岡地区	福岡県
中部地区	長崎県、佐賀県、熊本県、大分県
南部地区	鹿児島県、宮崎県、沖縄県
11. 総会の経費は主として会費及び出席者から徴収する金員より支出し、総会の議決を経た予算案によって実行するものとする。
12. 研修会の講師招聘に要する旅費、謝礼等の費用は、毎年会費の内から積立てて支弁する。

九州地区大学図書館協議会入会に関する細則

昭和 32 年 9 月 1 日施行
平成 9 年 4 月 25 日改正
平成 20 年 4 月 18 日改正

1. 本協議会へ入会を希望する大学図書館（以下「入会申込館」という。）は、最寄りの本協議会 会員の紹介書（別記様式 1）により、入会申込書（別記様式 2）を、総会の 3 ヶ月前までに幹事館に提出する。
2. 紹介を依頼された会員は、総会において入会申込館の概略を説明する。
3. 入会資格の基準は下記のとおりとする。
 - (1) 大学、短期大学又はこれに準じる教育研究機関の図書館施設であること。
 - (2) 本協議会の目的及び事業に賛同し、熱意が十分認められること。
4. 入会申込館は、総会当日は、入会承認まではオブザーバーとして出席することができる。

別記様式 1

九州地区大学図書館協議会入会紹介書

令和 年 月 日

九州地区大学図書館協議会 殿

大学名

図書館名

図書館長名

公印

下記の図書館は、本協議会の目的及び事業に賛同され、また熱意が十分認められますので、本協議会への入会を紹介します。

記

1. 学校（法人）名：
2. 大 学 名：
3. 図 書 館 名：
4. 図 書 館 長 名：
5. 所 在 地：

別記様式 2

九州地区大学図書館協議会入会申込書

令和 年 月 日

九州地区大学図書館協議会 殿

大学名

図書館名

図書館長名

公印

貴協議会の趣旨に賛同し、令和 年度からの入会を申し込みます。

記

1. 学校（法人）名：
2. 大 学 名：
3. 大 学 設 置 年：
4. 学 生 数：
5. 図 書 館 名：
6. 所 在 地：
(電話、FAX 番号)
7. 図 書 館 長 名：
8. 図 書 館 の 概 要：(別紙)
9. 紹 介 館 名：

別紙

図 書 館 の 概 要

図 書 館 名			
事務責任者職・氏名	(電話番号)		
図 書 館 職 員 数	人 (内、司書数 人)		
図 書 館 延 床 面 積	m ²	閲覧座席数	席
蔵 書 冊 数	冊 (内 和書 冊、洋書 冊)		
年間受入図書冊数	冊	年間受入雑誌種数	種
年 間 開 館 日 数	日	通常開館時間	時 分～ 時 分
土 曜 開 館	1 実施 2 未実施		
日 曜 祝 日 開 館	1 実施 2 一部実施 3 未実施		
奉 仕 対 象 学 生 数	人	奉仕対象教職員数	人
年 間 貸 出 冊 数	冊		
図 書 館 相 互 協 力	図書貸借	1 実施 2 未実施	
	文献複写	1 実施 2 未実施	
学 外 者 へ の サ ー ビ ス	1 実施 2 未実施		
コ ン プ ュ ー タ の 導 入	1 導入済 2 未導入		
コ ン プ ュ ー タ の 適 用 業 務	1 貸出 2 図書受入 3 図書整理 4 雑誌管理 5 OPAC		
ネ ッ ト ワ ー ク 環 境	1 学内 LAN 接続済 2 インターネット接続済		
国 立 情 報 学 研 究 所 と の 接 続	1 接続 (1 NACSIS-CAT/ILL 2 NACSIS-IR 3 その他) 2 未接続		

九州地区大学図書館協議会誌編集に関する内規

平成2年4月20日施行
平成5年4月23日改正
平成11年4月23日改正
令和5年6月22日改正

1. (1) 本協議会誌は、総会記事のほか各部会報告、ニュース等を掲載し、九州地区大学図書館間の情報誌としての機能を果たすこととする。
(2) 本協議会誌編集のために編集委員会を設ける。
2. (1) 編集委員会は、国立、公立及び私立の各部会からの推薦により選出された編集委員館で構成する。
(2) 幹事館及び総会当番館は、業務上の必要から編集委員館として参加することとし、上記2-(1)の編集委員館を兼ねることができる。
(3) 各部会の編集委員館は、幹事館の近隣地区から選出されることが望ましい。
(4) 編集委員館の任期は1年とし再任を妨げない。
3. (1) 編集委員館は、それぞれの所属する各部会の記事の提出を担当する。
(2) 総会当番館は、総会記事を担当する。
(3) 幹事館は、編集に関する事務を担当する。
4. 本協議会誌発行のため、印刷代、送料、編集会議費、原稿執筆等謝礼は、毎年会費の内から支弁する。
5. 本協議会誌に掲載された論文・記事は、九州地区大学図書館協議会ホームページに掲載することとする。

九州地区大学図書館協議会表彰規程

(目 的)

第1条 この規程は、九州地区大学図書館協議会（以下「協議会」という。）に加盟の大学図書館職員を表彰するため、必要な事項を定めることを目的とする。

(表彰を受ける者)

第2条 表彰は、次の各号の1に該当し、かつ勤務成績が良好である者について行う。

- (1) 勤務期間20年に達した者
- (2) 図書館学の研究、調査等にすぐれた業績のあった者

(表彰状の授与)

第3条 表彰は、協議会が別紙様式による表彰状を授与することによって行う。

2 第2条に該当する者については、前項の表彰状にあわせて記念品を贈呈することができる。

(被表彰者の選考)

第4条 表彰をうける者は、所属図書館長の推薦（別紙様式による）に基づき、表彰委員会が選考し、協議会の総会の承認を経て決定する。

(表彰委員会)

第5条 表彰委員会は、国立、公立及び私立の各部会からの推薦により選出された表彰委員館各1館で構成し、任期は1年として再任を妨げない。

(表彰の日)

第6条 表彰は、協議会の総会において行う。

(勤務期間の計算)

第7条 第2条第1号の勤務期間は、国公立大学図書館およびその他の図書館等に在職した期間とし、10年以上を加盟の大学図書館等に勤務したものでなければならない。

2 次の各号に掲げる期間は、勤務期間から除算する。

(1) 休職の期間（公傷病の期間は除く）

(2) 懲戒処分により停職された期間

(雑 則)

第8条 この規程に定めるもののほか、表彰の実施に関する必要な事項は、別に定める。

附 則

この規程は、昭和42年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、昭和55年5月9日から施行する。

附 則

この規程は、平成9年4月25日から施行する。

附 則

この規程は、平成11年4月23日から施行する。

附 則

この規程は、平成20年4月18日から施行する。

附 則

この規程は、令和5年6月22日から施行し、令和5年4月1日から適用する。

文書番号

令和 年 月 日

九州地区大学図書館協議会幹事館

〇〇大学附属図書館長 殿

〇〇大学（附属）図書館長

〇 〇 〇 〇

令和 年度表彰者の推薦について

下記の者を本年度の総会における被表彰者として推薦しますのでよろしくお取り計らい願います。
なお、別紙のとおり表彰者調書を提出します。

表彰者調書

〇〇大学(附属)図書館

職名		ふりがな 氏名		生年月日	年 月 日
表彰の区分	第2条第1号	第2条第2号	(〇を付してください。)		
勤務成績					
第7条第2項第2号該当の有無		有	・	無	(〇を付してください。)
履 歴 事 項					
年 月 日	勤 務 内 容 等	勤 務 期 間			
		加盟館での勤務期間	その他の図書館 での勤務期間		
～		年 月 日	年 月 日		
～					
～					
～					
～					
～					
～					
～					
～					
～					
～					
計			年 月 日	年 月 日	
		合計 年 月 日			

- 注 (1) 勤務期間の計算は暦日数によるものとし日を月に換算するときは30日をもって1月とすること。
- (2) 第7条第2項各号の除算期間は朱書すること。
- (3) 第2条第2号に該当する場合は、「勤務成績」欄は「業績」と書きかえて記入し、参考となる資料等を添付すること。

表彰状様式（1）第2条第1号該当者

表 彰 状

殿

あなたは 年のがい間大学図書館関係の業務に精励されその功労はまことに大きいものがあります。

よってここに記念品を贈り表彰します。

令和 年 月 日

九州地区大学図書館協議会

表彰状様式（2）第2条第2号該当者

表 彰 状

殿

あなたは図書館学の研究調査に精励されその向上発展に貢献されたことはまことに顕著なものがあります。

よってここに記念品を贈り表彰します。

令和 年 月 日

九州地区大学図書館協議会

研修会の補助に関する申合せ

平成6年9月20日決定
平成7年9月 1日改正
平成8年4月24日改正
平成9年4月25日改正
平成10年4月25日改正
平成15年4月25日改正
平成24年4月20日改正
九州地区大学図書館協議会

地区の大学図書館活動を発展させるため、研修会、講演会等（以下「研修会」という。）の経費を補助する申合せ事項を次のとおり定める。

1. 研修会経費を補助する対象は、九州地区大学図書館協議会に加盟している大学図書館が主体となって構成する県又は地区単位の組織とし、別紙のとおりとする。
2. 補助する経費の金額は、年間1組織に対して2万円を限度とする。
3. 研修会に要する経費の補助を受けようとするときは、別記様式による申請書を幹事館に提出するものとする。
4. 経費の補助を受けた組織は、本協議会誌に活動報告を掲載するものとする。
5. 経費の支出は、積立金会計を適用する。
6. 新たな組織から経費の補助の申し出があったときは、総会において承認を得るものとする。
7. これに関する事務は、幹事館で行う。

別 紙

経費を補助する県又は地区単位の組織

1. 福岡県・佐賀県大学図書館協議会（北部地区）
2. 福岡県・佐賀県大学図書館協議会（福岡地区）
3. 福岡県・佐賀県大学図書館協議会（南部地区）
4. 長崎県大学図書館協議会
5. 熊本県大学図書館協議会
6. 大分県大学図書館協議会
7. 宮崎県大学図書館協議会
8. 鹿児島県大学図書館協議会
9. 沖縄県大学図書館協議会

別記様式

令和 年度九州地区大学図書館協議会・研修会経費補助申請書

令和 年 月 日

九州地区大学図書館協議会

幹事館 殿

組織名
代表者
(所属大学)

九州地区大学図書館協議会の研修会経費の補助を受けたく、下記のとおり申請します。

記

研 修 会 名 及 び 内 容	
開 催 期 間	自 令和 年 月 日 () 時 分 至 令和 年 月 日 () 時 分
開 催 場 所	
参 加 機 関 数	
参 加 人 数	
必 要 経 費 (具体的に)	ア. 講 師 謝 金 _____ イ. 資 料 代 金 _____ ウ. 会 場 借 上 費 _____ エ. そ の 他 _____ 合 計 _____
連 絡 担 当 者	氏名 職 電話

*研修内容は、大学図書館活動を促進させるテーマであること。

副幹事館の役割

平成10年8月31日
幹事館・副幹事館会議

- 1 通常時
 1. 年度の事業・活動についての立案・協議
 2. 所属部会との連絡調整と情報の提供
 3. 入会の勧誘等、協議会の広報（特に所属部会の各大学に対して）
 4. ホームページ充実のための提言案、意見具申
- 2 会誌発行時
各部会から編集委員館は選出されているため、特に役割はないと思うが
・所属部会の情報（研究発表等、原稿情報）の提供等
- 3 総会時
 1. 副議長職に館長を選出等、当番館及び幹事館と協力しての総会運営
 2. 前日決定された各部会における役員館の事務局への連絡
 3. 総会終了後、当番館作成の議事録の確認
- 4 その他
別段ある場合は、適宜副幹事館から提案

九州地区大学図書館協議会ホームページの運用について

平成10年8月31日
平成20年1月30日改正
幹事館・副幹事館会議

1. 九州地区大学図書館協議会ホームページ（以下、「ホームページ」という。）は、九州大学附属図書館のサーバに置く。
(URL <http://www.lib.kyushu-u.ac.jp/qkyogikai/>)
2. ホームページの管理、維持（デザイン・構成を含む）は、九州地区大学図書館協議会事務局（以下、「事務局」という。）が行う。
3. ホームページに掲載する事項は当面以下のものを中心に構成するものとし、それぞれ以下の館が作成する。
 - ・トピックス&NEWS
加盟館、各設置部会毎協議会、各県毎協議会等からの原稿に基づき事務局が作成
総会議事録は総会当番館が原稿を作成

- ・加盟館一覧 事務局が作成
 - ・役員館一覧 事務局が作成
 - ・当番館一覧 事務局が作成
 - ・九州地区大学図書館協議会誌
事務局が作成（論文等執筆者に対しては原稿依頼時にホームページ掲載方の承諾を得るものとする。）
 - ・地区内の図書館活動
各設置部会毎の図書館協議会等及び各県毎協議会が作成
 - ・各種関連資料集 事務局が作成
 - ・関連サイトへのリンク集 事務局が作成
 - ・地区内各館の相互利用案内 各加盟館からの原稿に基づき事務局が作成
 - ・フォーラムページ
協議会が設定するテーマに対する加盟館からの自由な意見・回答のページで、投稿は直接電子メールによる
4. 「3.」のほか、ホームページに文書・記事等の掲載を希望する副幹事館及び加盟館は、HTML形式等で原稿を作成し、事務局に送付するものとする。
- 事務局は内容を確認のうえ、ホームページに掲載する。

九州地区大学図書館協議会加盟館一覧

2025(R7).1.1 現在

	館名	郵便番号	所在地	電話番号 ()内はFAX番号
国 立	九州工業大学 附属図書館 (館長 安永卓生, 情報基盤課長 播磨良輔)	804-8550	北九州市戸畑区仙水町1の1	093-884-3073 (093-884-3075)
	福岡教育大学 学術情報センター図書館 (センター長 大坪靖直, 学術情報課長(事務局長兼務) 牧野映也)	811-4192	宗像市赤間文教町1番5号	0940-35-1849 (0940-35-1705)
	九州大学 附属図書館 (館長 内田誠一, 事務部長 鈴木雅子)	819-0395	福岡市西区元岡744	092-802-2470 (092-802-2474)
	佐賀大学 附属図書館 (館長 中村博和, 学術研究部長 溝口寛士)	840-8502	佐賀市本庄町1	0952-28-8902 (0952-28-8909)
	長崎大学 附属図書館 (館長 浜田久之, 学術情報部長 佐藤千夏)	852-8521	長崎市文教町1番14号	095-819-2193 (095-819-2196)
	熊本大学 附属図書館 (館長 宮崎誓, 教育研究支援部長 五十嵐孝一)	860-8555	熊本市中央区黒髪2丁目40の1	096-342-2213 (096-342-2210)
	大分大学 学術情報拠点 (拠点長 中島 誠, 研究推進部長 野田孝夫)	870-1192	大分市大字且野原700	097-554-7482 (097-554-7488)
	宮崎大学 附属図書館 (館長 藤井良宜, 事務長 杉本佳彦)	889-2192	宮崎市学園木花台西1丁目1番地	0985-58-2879 (0985-58-2880)
	鹿児島大学 附属図書館 (館長 山本智子, 情報推進部長 佐藤秀)	890-0065	鹿児島市郡元1丁目2番35号	099-285-7415 (099-285-7413)
	鹿児島体育大学 附属図書館 (館長 関 朋昭, 国際・学術情報課長 川崎伸一)	891-2393	鹿児島市白水町1番地	0994-46-4874 (0994-46-4157)
琉球大学 附属図書館 (館長 東矢光代, 事務部長 結城憲司)	903-0214	中頭郡西原町字千原1番地	098-895-8153 (098-895-8154)	
公 立	北九州市立大学 図書館 (館長 二宮正人, 情報化推進課長 藤田康宏)	802-8577	北九州市小倉南区北方4丁目2の1	093-964-4404 (093-964-4437)
	九州歯科大学 附属図書館 (館長 中島啓介, 学務部長 大山博史)	803-8580	北九州市小倉北区真鶴2丁目6の1	093-582-1131 (093-583-7388)
	北九州学術研究都市 学術情報センター (総務企画部長 森 善裕, 学術情報担当課長 太田俊雄)	808-0135	北九州市若松区ひびきの1番3号	093-695-3150 (093-695-3152)
	福岡女子大学 附属図書館 (館長 宮川美佐子, 副館長 小西鉄)	813-8529	福岡市東区香住ヶ丘1丁目1の1	092-661-2411 (092-661-2416)
	福岡県立大学 附属図書館 (館長 石崎龍二, 学務部長 樋口佳代)	825-8585	田川市伊田4395	0947-42-1760 (0947-42-9457)
	長崎県立大学 附属図書館 (館長 大曲勝久, 佐世保校館長 西岡誠治, 佐世保校図書 課長 野中哲也, シーボルト校図書課長 李尾直純)	851-2195	西彼杵郡長与町まなび野1丁目1番1	095-813-5075 (095-813-5224)
	熊本県立大学 図書館 (館長 江崎一朗, 事務長 武末俊光)	862-8502	熊本市東区月出3丁目1番100号	096-321-6614 (096-383-2999)
	大分県立芸術文化短期大学 附属図書館 (館長 森口真司, 企画情報課長 阿南修次)	870-0833	大分市上野丘東1の11	097-545-4235 (097-545-4235)
	大分県立看護科学大学 附属図書館 (館長 福田広美, 財務グループリーダー 小野逸郎)	870-1201	大分市大字廻栖野2944-9	097-586-4330 (097-586-4373)
	宮崎公立大学 附属図書館 (館長 森部陽一郎, 企画総務課長 長友由美)	880-8520	宮崎市船塚1丁目1番地2	0985-20-4814 (0985-20-4806)
	宮崎県立看護大学 附属図書館 (館長 串間敦郎, 総務課長 衛藤洋介)	880-0929	宮崎市まなび野3-5-1	0985-59-7756 (0985-59-7773)
	鹿児島県立短期大学 附属図書館 (館長 木戸裕子, 副館長 大内田里美)	890-0005	鹿児島市下伊敷1丁目52番1号	099-803-4475 (099-803-4473)
	沖縄県立看護大学 附属図書館 (館長 佐伯宣久, 主事 屋比久瑞季)	902-8513	那覇市与儀1-24-1	098-833-8806 (098-833-5134)

	館名	郵便番号	所在地	電話番号 ()内はFAX番号
公立	沖縄県立芸術大学 附属図書・芸術資料館 (館長 森 達也, 主査 久手堅文子)	903-8602	那覇市首里当蔵町1-4	098-882-5038 (098-882-5068)
	名城大学 附属図書館 (館長 小番 達, 図書課長 神谷順子)	905-8585	沖縄県名護市字為又1220-1	0980-51-1062 (0980-54-0052)
私立	西日本工業大学 図書館 (館長 川崎敏之, 学務課長 宇佐圭司)	800-0394	福岡県京都市都荏田町新津1-11	0930-23-7729 (0930-24-7900)
	西南女学院大学 図書館 (館長 岡田和敏, 課長 垂水典子)	803-0835	北九州市小倉北区井堀1丁目3の5	093-583-5959 (093-592-1885)
	九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学 図書館 (館長 赤松貴文, 主任司書 内川梓)	803-8511	北九州市小倉北区下到津5の1の1	093-561-3541 (093-592-6184)
	九州国際大学 図書館 (館長 山口秋義, 事務室長 井上秀一(兼務))	805-8512	北九州市八幡東区平野1丁目6の1	093-671-8919 (093-671-8920)
	九州共立大学 附属図書館 (館長 島尻芳人(兼務), 図書情報課長補佐 原口 誠)	807-8585	北九州市八幡西区自由ヶ丘1-8	093-693-3036 (093-603-2260)
	九州女子大学・短期大学 附属図書館 (館長 島尻芳人(兼務), 図書情報課長補佐 原口 誠)	807-8586	北九州市八幡西区自由ヶ丘1-1	093-693-3124 (093-603-0494)
	福岡工業大学 附属図書館 (館長 木室義彦, 事務部長 中島良二)	811-0295	福岡市東区和白東3-30-1	092-606-0691 (092-606-7389)
	福岡女学院大学 図書館 (館長 大國真希, 事務室長 梶原竜一)	811-1313	福岡市南区日佐3丁目42の1	092-575-6402 (092-575-4605)
	九州産業大学 図書館 (館長 西村香織, 事務部長 宮丸由美子)	813-8503	福岡市東区松香台2丁目3の1	092-673-5382 (092-673-5999) (092-673-5926)
	福岡国際医療福祉大学 図書館 (館長 白石順二, 司書 井村普也)	814-0001	福岡市早良区百道浜3丁目6の40	092-832-1200 (092-832-1167)
	福岡大学 図書館 (館長 佐藤 伸, 事務部長 小柳利行)	814-0180	福岡市城南区七隈8丁目19の1	092-871-6631 (092-865-3794)
	中村学園大学 メディアセンター (センター長 山本朋弘, 部長 溝口 恒)	814-0198	福岡市城南区別府5丁目7の1	092-851-2573 (092-841-7762)
	西南学院大学 図書館 (館長 黒木重雄, 事務部長 平山 崇)	814-8511	福岡市早良区西新6丁目2番92号	092-823-3426 (092-823-3480)
	純真学園大学 図書館 (館長 石橋孝明, 主任 山本哲也)	815-0036	福岡市南区筑紫丘1丁目1番1号	092-541-1527 (092-541-1542)
	第一薬科大学 図書館 (館長 小山 進, 主任司書 古沢恒平)	815-8511	福岡市南区玉川町22の1	092-541-0161 (092-542-5698)
	九州情報大学 附属図書館 (館長 丹羽崇之, 図書館司書 井上理恵子)	818-0117	太宰府市宰府6丁目3番1号	092-928-4000 (092-928-3200)
	筑紫女学園大学 附属図書館 (学術情報部長 高木佳世子, 大学総務班主査 半田 隆)	818-0192	太宰府市石坂2丁目12-1	092-925-9910 (092-925-3318)
	久留米工業大学 学術情報センター (館長 麻生 茂, 図書館室長 柿田 正裕)	830-0052	久留米市上津町2228-66	0942-65-3480 (0942-22-2385)
	久留米大学 附属図書館 (館長 桑野栄治, 課長 中島陽之)	839-8502	久留米市御井町1635	0942-44-4015 (0942-43-0348)
	国際医療福祉大学 大川キャンパス図書館 (館長 小荒田秀一, 事務部長 中村泰弘)	831-8501	大川市榎津137-1	0944-89-2143 (0944-86-6000)
	西九州大学 附属図書館 (館長 近藤芳昭, 小城キャンパス総務課長兼図書課長 奥 慎一郎)	842-8585	神崎市神崎町尾崎4490-9	0952-37-9299 (0952-53-7869)
	活水女子大学 図書館 (館長 狩野暁洋, 図書課長 奥村治輝)	850-8515	長崎市東山手町1-50	095-820-6028 (095-823-3701)
長崎総合科学大学 附属図書館 (館長 板倉教記, 教育研究支援部 情報・図書担当次長 西村泰成)	851-0193	長崎市網場町536	095-838-5141 (095-838-2072)	

	館名	郵便番号	所在地	電話番号 ()内はFAX番号	
私	長崎外国語大学 教育研究メディアセンター (センター長 野田雄史, マルチメディアライブラリー事務室長補佐 別所佐和子)	851-2196	長崎市横尾3-15-1	095-840-2005 (095-840-2205)	
	長崎純心大学 早坂記念図書館 (館長 浜口美由紀, 図書課長 熊野志保)	852-8558	長崎市三ツ山町235	095-846-0084 (095-845-4279)	
	鎮西学院大学 附属図書館 (館長 菅原良子, 司書 天野みゆき)	854-0082	諫早市西栄田町1212-1	0957-26-8203 (0957-26-0244)	
	長崎国際大学 図書館 (館長 岸原健二, 図書課長 久保隆司)	859-3298	佐世保市ハウステンボス町2825-7	0956-20-5560 (0956-39-4894)	
	崇城大学 図書館 (館長 関根浩子, 課長 早見久美子)	860-0082	熊本市西区池田4丁目22-1	096-326-3419 (096-359-3002)	
	九州ルーテル学院大学 図書館 (館長 有村達之, 総務課図書館担当 緒方聡)	860-8520	熊本市中央区黒髪3丁目12-16	096-343-1600 (096-343-0354)	
	熊本学園大学 付属図書館 (館長 土井浩嗣, 図書情報課長 林田利子)	862-8680	熊本市中央区大江2丁目5番1号	096-371-8047 (096-364-5173)	
	東海大学 フェニックスカレッジ熊本 熊本図書館 (館長 伊藤是清)	862-8652	熊本市東区渡鹿9-1-1	096-386-2634 (096-386-2769)	
	熊本保健科学大学 附属図書館 (館長 古閑陽一, 教学支援課長 山崎栄子)	861-5598	熊本市北区和泉町325	096-275-2264 (096-275-2265)	
	九州看護福祉大学 附属図書館 (館長 竹中 健, 図書課長 福本直子)	865-0062	玉名市富尾888	0968-75-1840 (0968-75-1873)	
	日本文理大学 図書館 (館長 池畑義人, 係長 渡辺浩江)	870-0397	大分市大字一木1727	097-524-2711 (097-593-5166)	
	立命館アジア太平洋大学 ライブラリー (総合情報センター長 Khan Muhammad T, アカデミック・オフィス課長 山下啓祐)	874-8577	別府市十文字原1-1	0977-78-1140 (0977-78-1141)	
	別府大学 附属図書館 (館長 松田美香, 総務・研究推進課長 畑中美智子)	874-8501	別府市大字北石垣82	0977-66-9633 (0977-66-9632)	
	九州医療科学大学 附属図書館 (館長 倉内紀子, 課長 大石正憲)	882-8508	延岡市吉野町1714-1	0982-23-5562 (0982-23-5560)	
	宮崎産業経営大学 附属図書館 (館長 日高光宣, 課長 上村弘明)	880-0931	宮崎市古城町丸尾100	0985-52-3205 (0985-50-4699)	
	南九州学園 図書館 (館長 植村秀人, 図書課長 赤木裕美)	880-0032	宮崎市霧島5-1-2	0985-83-3430 (0985-83-3431)	
	宮崎学園 図書館 (宮崎国際大学・宮崎学園短期大学) (館長 川越勇二, 事務係長 永春留美)	889-1605	宮崎市清武町加納丙1415	0985-85-1410 (0985-85-8189)	
	立	鹿児島国際大学 附属図書館 (館長 久保禎, 図書館事務室長 濱田照美)	891-0197	鹿児島市坂之上8-34-1	099-263-0732 (099-261-1198)
		鹿児島純心大学 附属図書館 (館長 仙波玲子, 図書課長 岩永眞佐子)	895-0011	薩摩川内市天辰町2365	0996-23-5311 (0996-23-5030)
		志学館大学 図書館 (館長 畑井清隆, 主任司書 荻迫香)	890-8504	鹿児島市紫原一丁目59-1	099-812-8501 (099-257-0308)
沖縄国際大学 図書館 (館長 山口真也, 課長 井口忠)		901-2701	宜野湾市宜野湾2丁目6番1号	098-892-1111 (098-893-3274)	
沖縄大学 図書館 (館長 崔珉 寧, 事務長 城間尚樹)		902-8521	那覇市字国場555	098-832-5577 (098-834-1127)	
沖縄キリスト教学院 図書館 (館長 上原明子, 課長 多根宏治)		903-0207	沖縄県中頭郡西原町字翁長777	098-946-1236 (098-946-1237)	
沖縄科学技術大学院大学 図書館 (館長 エヴァン エコノモ, マネージャー 上原藤子)		904-0495	沖縄県国頭郡恩納村字茶谷1919-1	098-982-3769	

九州地区大学図書館協議会役員館一覽

年次 (回次)	幹事館	監査館	表彰委員館			編集委員館
昭和48年度 (24)	九州大学	福岡女子短大	国 公 私	福岡教育大学 長崎国際経済大学 福岡大学	佐賀大学 長崎県立女子短大 西南学院大学	
昭和49年度 (25)	九州大学	福岡女子大学	国 公 私	九州工業大学 長崎国際経済大学 西南学院大学	九州芸術工科大学 長崎県立女子短大 福岡大学	
昭和50年度 (26)	九州大学	西南学院大学	国 公 私	佐賀大学 北九州大学 久留米大学	長崎大学 大分県立芸術短大 熊本商科大学	
昭和51年度 (27)	九州大学	九州産業大学	国 公 私	九州芸術工科大学 九州歯科大学 久留米大学	大分大学 長崎国際経済大学 西南学院大学	
昭和52年度 (28)	九州大学	福岡大学	国 公 私	福岡教育大学 福岡女子大学 西南学院大学	鹿児島大学 熊本女子大学 九州産業大学	
昭和53年度 (29)	九州大学	九州芸術工科大学	国 公 私	佐賀大学 長崎県立女子短大 西南学院大学	九州芸術工科大学 長崎国際経済大学 久留米大学	
昭和54年度 (30)	九州大学	九州産業大学	国 公 私	九州芸術工科大学 北九州大学 九州産業大学	佐賀大学 九州歯科大学 久留米大学	
昭和55年度 (31)	九州大学	福岡女子大学	国 公 私	宮崎大学 福岡社会保育短大 西南学院大学	九州工業大学 大分県立芸術短大 熊本商科大学	
昭和56年度 (32)	九州大学	西南学院大学	国 公 私	福岡教育大学 熊本女子大学 九州産業大学	熊本大学 鹿児島県立短大 福岡大学	
昭和57年度 (33)	九州大学	福岡大学	国 公 私	長崎大学 北九州大学 八幡大学	鹿児島大学 福岡女子大学 熊本商科大学	
昭和58年度 (34)	九州大学	九州芸術工科大学	国 公 私	琉球大学 福岡社会保育短大 鹿児島経済大学	宮崎医科大学 鹿児島県立短大 八幡大学	
昭和59年度 (35)	九州大学	福岡女子大学	国 公 私	佐賀医科大学 長崎国際経済大学 中村学園大学	大分医科大学 長崎県立女子短大 西日本工業大学	
昭和60年度 (36)	九州大学	中村学園大学	国 公 私	宮崎大学 熊本女子大学 鹿児島経済大	九州工業大学 大分県立芸術短大 西日本工業大学	
昭和61年度 (37)	九州大学	福岡女子短大	国 公 私	熊本大学 北九州大学 長崎総合科学大学	大分大学 福岡社会保育短大 第一薬科大学	
昭和62年度 (38)	九州大学	九州芸術工科大学	国 公 私	宮崎医科大学 福岡女子大学 九州東海大学	大分医科大学 九州歯科大学 沖縄国際大学	

年次 (回次)	幹事館	監査館	表彰委員館			編集委員館
昭和63年度 (39)	九州大学	福岡女子大学	国 公 私	佐賀医科大学 長崎国際経済大学 福岡大学	琉球大学 鹿児島県立短期大学 八幡大学	
平成元年度 (40)	九州大学	九州産業大学	国 公 私	九州芸術工科大学 長崎県立女子短期大学 西南学院大学	佐賀大学 熊本女子大学 中村学園大学	
平成2年度 (41)	九州大学	中村学園大学	国 公 私	福岡教育大学 北九州大学 九州産業大学	長崎大学 大分県立芸術文化短期大学 熊本商科大学	九州大学 大分医科大学 福岡女子大学 福岡大学 福岡女子短期大学
平成3年度 (42)	九州大学	福岡大学	国 公 私	九州工業大学 福岡県社会保育短期大学 久留米大学	鹿児島大学 長崎県立大学 西日本工業大学	九州大学 鹿屋体育大学 九州歯科大学 中村学園大学 筑紫女学園短期大学
平成4年度 (43)	九州大学	福岡女子短期大学	国 公 私	宮崎大学 福岡女子大学 鹿児島経済大学	大分大学 九州歯科大学 活水女子大学	九州大学 福岡教育大学 北九州大学 九州国際大学 東筑紫短期大学
平成5年度 (44)	九州大学	福岡女子大学	国 公 私	宮崎医科大学 熊本女子大学 活水女子大学	大分医科大学 鹿児島県立短期大学 鹿児島経済大学	九州大学 熊本大学 福岡女子大学 西南学院大学 筑紫女学園短期大学
平成6年度 (45)	九州大学	九州芸術工科大学	国 公 私	熊本大学 大分県立芸術文化短期大学 活水女子大学	佐賀医科大学 宮崎公立大学 鹿児島経済大学	九州大学 宮崎大学 福岡県立大学 九州産業大学 筑紫女学園短期大学
平成7年度 (46)	九州大学	九州産業大学	国 公 私	鹿屋体育大学 北九州大学 第一薬科大学	琉球大学 長崎県立大学 南九州大学	九州大学 九州工業大学 九州歯科大学 久留米大学 筑紫女学園短期大学
平成8年度 (47)	九州大学	西南学院大学	国 公 私	九州芸術工科大学 福岡女子大学 九州東海大学	佐賀大学 九州歯科大学 熊本学園大学	九州大学 大分大学 北九州大学 九州共立大学 西南女学院短期大学
平成9年度 (48)	九州大学	福岡教育大学	国 公 私	九州工業大学 熊本県立大学 九州女子大学	宮崎大学 鹿児島県立短期大学 久留米工業大学	九州大学 佐賀大学 九州歯科大学 福岡大学 西南女学院短期大学

年次 (回数)	幹事館	副 幹 事 館		監 査 館	表彰委員館	編集委員館
平成10年度 (49)	九州大学	国 公 私 短	九州芸術工科大学 福岡女子大学 九州国際大学 中九州短期大学	中村学園大学	福岡教育大学 長崎大学 福岡県立大学 長崎県立女子短期大学 西日本工業大学 筑紫女学園大学	九州大学 佐賀医科大学 福岡女子大学 第一薬科大学 <small>福岡国際大学・福岡女子短期大学</small>
平成11年度 (50)	九州大学	国 公 私 短	九州工業大学 大分県立芸術文化短期大学 鹿児島経済大学 沖縄キリスト教短期大学	福岡大学	鹿児島大学 大分県立芸術文化短期大学 別府大学 中九州短期大学	九州大学 佐賀大学 長崎大学 福岡県立大学 熊本工業大学 <small>福岡国際大学・福岡女子短期大学</small>
平成12年度 (51)	九州大学	国 公 私 短	九州工業大学 大分県立芸術文化短期大学 鹿児島国際大学 沖縄キリスト教短期大学	福岡女子大学	大分大学 宮崎県立大学 宮崎国際大学 中九州短期大学	九州大学 沖縄国際大学 宮崎医科大学 北九州大学 西南女学院大学 <small>福岡国際大学・福岡女子短期大学</small>
平成13年度 (52)	九州大学	国 公 私 短	福岡教育大学 宮崎公立大学 福岡工業大学 九州大谷短期大学	福岡教育大学	宮崎医科大学 北九州市立大学 筑紫女学園大学 沖縄キリスト教短期大学	鹿児島大学 九州歯科大学 西九州大学 活水女子短期大学 九州大学 九州女子大学
平成14年度 (53)	九州大学	国 公 私 短	福岡教育大学 宮崎公立大学 福岡工業大学 九州大谷短期大学	福岡工業大学	大分医科大学 熊本県立大学 九州情報大学 九州大谷短期大学	琉球大学 福岡県立大学 鹿児島純心女子大学 活水女子短期大学 九州大学 大分大学
平成15年度 (54)	九州大学	国 公 私 短	佐賀大学 北九州市立大学 九州共立大学 筑紫女学園大学・短期大学	筑紫女学園大学・短期大学	鹿屋体育大学 宮崎県立看護大学 九州ルーテル学院大学 筑紫女学園大学・短期大学	九州工業大学 福岡女子大学 九州看護福祉大学 西南女学院大学・短期大学 九州大学 宮崎大学
平成16年度 (55)	九州大学	国 公 私 短	佐賀大学 北九州市立大学 九州共立大学 筑紫女学園大学・短期大学	西南学院大学	熊本大学 福岡女子大学 志學館大学 東九州女子短期大学	福岡教育大学 九州歯科大学 南九州大学・南九州短期大学 西南女学院大学・短期大学
平成17年度 (56)	九州大学	国 公 私 短	長崎大学 熊本県立大学 九州東海大学 鹿児島純心女子短期大学	九州産業大学	琉球大学 沖縄県立看護大学 西南女学院大学 鹿児島純心女子短期大学	熊本大学 北九州市立大学 西日本工業大学 鹿児島純心女子短期大学
平成18年度 (57)	九州大学	国 公 私 短	長崎大学 熊本県立大学 九州東海大学 鹿児島純心女子短期大学	福岡国際大学・ 福岡女子短期 大 学	佐賀大学 鹿児島県立短期大学 福岡女学院大学 <small>九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学</small>	鹿屋体育大学 福岡県立大学 筑紫女学園大学・短期大学 <small>九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学</small>
平成19年度 (58)	九州大学	国 公 私 短	熊本大学 宮崎県立看護大学 福岡大学 <small>九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学</small>	中村学園大学	九州工業大学 九州歯科大学 久留米工業大学 <small>九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学</small>	福岡教育大学 福岡女子大学 九州女子大学・短期大学 <small>九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学</small>

年次 (回次)	幹事館	副幹事館		監査館	表彰委員館	編集委員館
平成20年度 (59)	九州大学	国 公 私 私短	熊本大学 宮崎県立看護科学大学 福岡大学 <small>九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学</small>	福岡教育大学	宮崎大学 大分県立看護科学大学 別府大学 <small>九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学</small>	長崎大学 九州歯科大学 鹿児島国際大学 <small>九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学</small>
平成21年度 (60)	九州大学	国 公 私 私短	大分大学 福岡県立大学 九州産業大学 九州大谷短期大学	福岡女子大学	福岡教育大学 宮崎公立大学 福岡国際大学・福岡女子短期大学 鹿児島女子短期大学	鹿児島大学 北九州市立大学 西南女学院大学 中九州短期大学
平成22年度 (61)	九州大学	国 公 私 私短	大分大学 福岡県立大学 九州産業大学 九州大谷短期大学	福岡大学	長崎大学 福岡女子大学 鹿児島純心女子大学 鹿児島女子短期大学	九州工業大学 <small>北九州学術研究都市学術情報センター</small> 活水女子大学 <small>九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学</small>
平成23年度 (62)	九州大学	国 公 私 私短	宮崎大学 長崎県立大学 熊本学園大学 <small>九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学</small>	福岡工業大学	鹿児島大学 大分県立芸術文化短期大学 福岡女学院大学 <small>九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学</small>	佐賀大学 福岡県立大学 九州国際大学 九州大谷短期大学
平成24年度 (63)	九州大学	国 公 私 私短	宮崎大学 長崎県立大学 熊本学園大学 <small>九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学</small>	筑紫女学園大学・短期大学	大分大学 沖縄県立看護科学大学 九州東海大学 九州大谷短期大学	琉球大学 福岡女子大学 沖縄国際大学 鹿児島女子短期大学
平成25年度 (64)	九州大学	国 公 私 私短	鹿児島大学 鹿児島県立短期大学 久留米大学 鹿児島女子短期大学	西南学院大学	鹿屋体育大学 北九州市立大学 九州共立大学 鹿児島純心女子短期大学	宮崎大学 九州歯科大学 聖マリア学院大学 鹿児島純心女子短期大学
平成26年度 (65)	九州大学	国 公 私 私短	鹿児島大学 鹿児島県立短期大学 久留米大学 鹿児島女子短期大学	九州産業大学	熊本大学 熊本県立大学 九州保健福祉大学 東九州短期大学	大分大学 北九州市立大学 西九州大学 東九州短期大学
平成27年度 (66)	九州大学	国 公 私 私短	鹿屋体育大学 九州歯科大学 沖縄国際大学 鹿児島純心女子短期大学	中村学園大学	琉球大学 鹿児島県立短期大学 九州情報大学 福岡国際大学・ 福岡女子短期大学	熊本大学 北九州学術研究都市学術情報センター 西日本工業大学 <small>福岡国際大学・福岡女子短期大学</small>
平成28年度 (67)	九州大学	国 公 私 私短	鹿屋体育大学 九州歯科大学 沖縄国際大学 鹿児島純心女子短期大学	福岡教育大学	佐賀大学 北九州学術研究都市学術情報センター 長崎総合科学大学 鹿児島女子短期大学	福岡教育大学 福岡女子大学 沖縄キリスト教学院大学 鹿児島女子短期大学
平成29年度 (68)	九州大学	国 公 私 私短	琉球大学 大分県立看護科学大学 九州国際大学 <small>九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学</small>	福岡女子大学	九州工業大学 長崎県立大学 西日本工業大学 <small>九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学</small>	鹿屋体育大学 福岡県立大学 九州情報大学 <small>九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学</small>
平成30年度 (69)	九州大学	国 公 私 私短	琉球大学 大分県立看護科学大学 九州国際大学 <small>九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学</small>	福岡大学	宮崎大学 宮崎県立看護科学大学 沖縄科学技術大学院大学 鹿児島純心女子短期大学	長崎大学 九州歯科大学 熊本保健科学大学 鹿児島純心女子短期大学
平成31年度 (令和元年度) (70)	九州大学	国 公 私 私短	佐賀大学 宮崎公立大学 福岡工業大学 福岡女子短期大学	福岡工業大学	福岡教育大学 福岡県立大学 純真学園大学 福岡女子短期大学	鹿児島大学 北九州市立大学 西南女学院大学 福岡女子短期大学
令和2年度 (71)	九州大学	国 公 私 私短	佐賀大学 宮崎公立大学 福岡工業大学 福岡女子短期大学	筑紫女学園大 学	長崎大学 大分県立看護科学大学 九州ルーテル学院大学 鹿児島女子短期大学	九州工業大学 <small>北九州学術研究都市学術情報センター</small> 宮崎国際大学 鹿児島女子短期大学

年次 (回次)	幹事館	副 幹 事 館		監 査 館	表彰委員館	編集委員館
令和3年度 (72)	九州大学	国 公 私 短	九州工業大学 福岡女子大学 福岡工業大学 鹿児島女子短期大学	西南学院大学	鹿児島大学 宮崎公立大学 九州国際大学 <small>九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学</small>	佐賀大学 福岡女子大学 久留米工業大学 <small>九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学</small>
令和4年度 (73)	九州大学	国 公 私 短	九州工業大学 福岡女子大学 福岡工業大学 鹿児島女子短期大学	九州産業大学	大分大学 九州歯科大学 鹿児島純心女子大学 鹿児島純心女子短期大学	琉球大学 福岡県立大学 鎮西学院大学 鹿児島純心女子短期大学
令和5年度 (74)	九州大学	国 公 私	福岡教育大学 熊本県立大学 久留米大学	中村学園大学	鹿屋体育大学 大分県立芸術文化短期大学 第一薬科大学	宮崎大学 九州歯科大学 九州女子大学・短期大学
令和6年度 (75)	九州大学	国 公 私	福岡教育大学 熊本県立大学 久留米大学	福岡教育大学	熊本大学 沖縄県立看護大学 西九州大学	大分大学 北九州市立大学 別府大学
令和7年度 (76)						

九州地区大学図書館協議会総会当番館一覧

回次	年度	県別	大 学
1	25	福岡	九州大学
2	26	熊本	熊本大学
3	27	長崎	長崎大学
4	28	佐賀	佐賀大学
5	29	鹿児島	鹿児島大学
6	30	宮崎	宮崎大学
7	31	大分	大分大学
8	32	福岡	西南学院大学
9	33	福岡	九州大学
10	34	熊本	熊本大学
11	35	福岡	九州工業大学
12	36	長崎	長崎大学
13	37	福岡	福岡大学
14	38	佐賀	佐賀大学
15	39	福岡	福岡教育大学
16	40	宮崎	宮崎大学
17	41	福岡	八幡大学
18	42	鹿児島	鹿児島大学
19	43	福岡	九州大学
20	44	熊本	熊本商科大学
21	45	福岡	久留米大学
22	46	大分	大分大学
23	47	福岡	北九州大学
24	48	長崎	長崎大学
25	49	福岡	九州産業大学
26	50	佐賀	佐賀大学
		〃	佐賀龍谷短期大学
27	51	沖縄	琉球大学
28	52	福岡	九州大学
29	53	大分	大分大学
30	54	宮崎	宮崎大学
31	55	福岡	九州歯科大学
		〃	福岡女子大学
		〃	福岡県社会保険短期大学
32	56	熊本	熊本女子大学
33	57	鹿児島	鹿児島大学
		〃	鹿児島県立短期大学
		〃	鹿児島経済大学

回次	年度	県別	大 学
34	58	福岡	西日本工業大学
35	59	長崎	長崎大学
36	60	宮崎	宮崎医科大学
		大分	大分県立芸術短期大学
		宮崎	南九州大学
		長崎	純心女子短期大学
37	61	福岡	九州芸術工科大学
38	62	佐賀	佐賀医科大学
39	63	沖縄	琉球大学
40	平成元	福岡	北九州大学
41	2	大分	大分医科大学
42	3	鹿児島	鹿屋体育大学
43	4	福岡	西南学院大学
44	5	熊本	九州東海大学
45	6	宮崎	宮崎産業経営大学
46	7	福岡	九州工業大学
47	8	長崎	長崎大学
48	9	鹿児島	鹿児島経済大学
49	10	福岡	福岡女子大学
50	11	佐賀	佐賀大学
51	12	沖縄	沖縄国際大学
52	13	福岡	九州女子大学
53	14	大分	大分大学
54	15	宮崎	宮崎大学
55	16	福岡	福岡教育大学
56	17	熊本	熊本大学
57	18	鹿児島	鹿屋体育大学
58	19	福岡	九州大学
59	20	長崎	長崎大学
60	21	沖縄	琉球大学
61	22	福岡	福岡県立大学
		〃	九州歯科大学
		〃	北九州学術研究都市(学術情報センター)
62	23	佐賀	佐賀大学
63	24	鹿児島	鹿児島大学
64	25	福岡	福岡教育大学
65	26	大分	大分大学学術情報拠点
66	27	宮崎	宮崎大学

回次	年度	県別	大 学
67	28	福 岡	九 州 大 学
68	29	長 崎	長 崎 大 学
69	30	鹿児島	鹿 屋 体 育 大 学
70	31	福 岡	九 州 工 業 大 学
71	令和2	熊 本	熊 本 大 学
72	3	冲 縄	琉 球 大 学
73	4	福 岡	福 岡 教 育 大 学
74	5	佐 賀	佐 賀 大 学
75	6	鹿児島	鹿 児 島 大 学
76	7	福 岡	九 州 大 学
77	8		

先生方のお役に立つ為に

アプライドはパソコンだけではありません
アプライドができる事まとめました
是非、ご相談ください



アプライド

Computer&Internet Audio&Visual

パソコン・周辺機器販売・ネット環境の構築

ワークステーション・NAS販売

DX化のご提案・レンタル事業・研究所のリモート化

広報支援・WEB制作・動画制作

アプライド for University

まずはアプライドにお任せください!

<https://www.applied.ne.jp/#>

Q アプライド 大学

検索



アプライド株式会社
SI福岡営業部

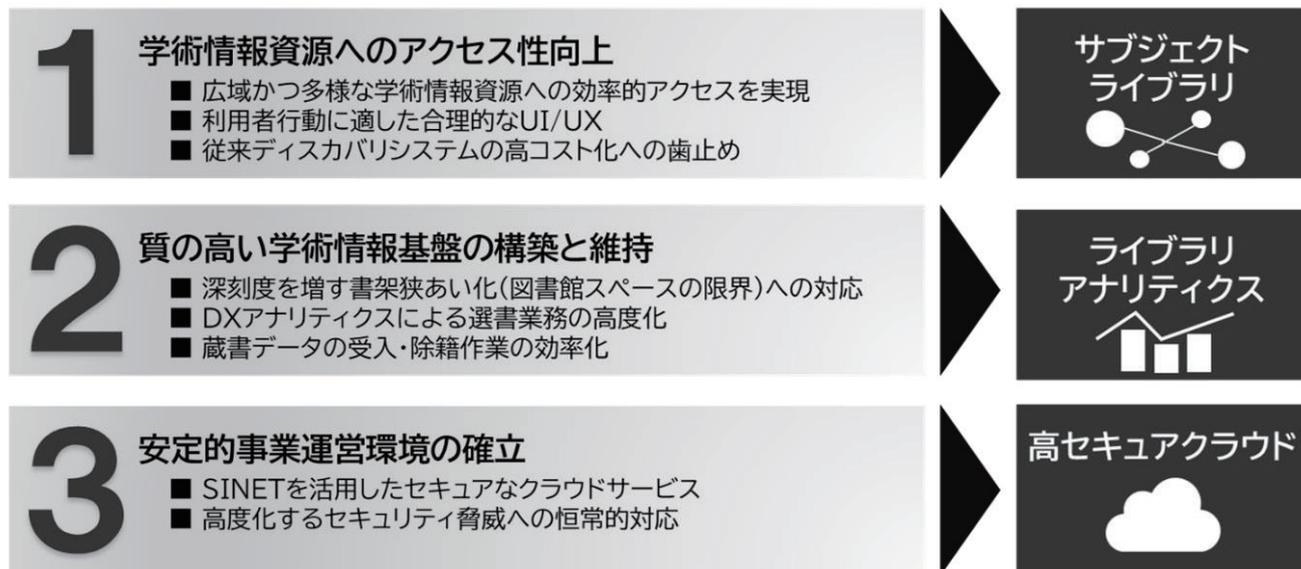
TEL 092-481-7802
E-MAIL gaihan@applied-net.co.jp

図書館情報システム NALIS

～図書館業務の高度化に繋げる『これからの図書館システム』～

株式会社 NTT データ九州

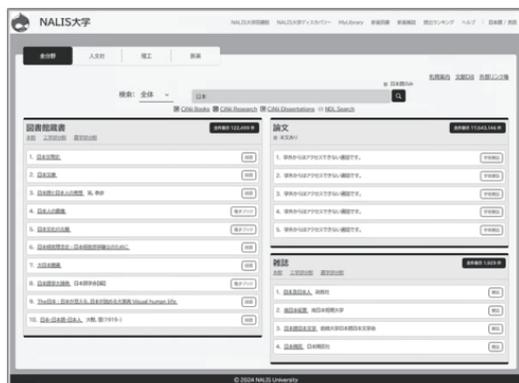
図書館情報システム NALIS は、DX を活用し図書館事業の本質「学術情報の収集と維持」、
「学術情報へのアクセス性向上」に繋げる『これからの図書館システム』です。



サブジェクトライブラリ コンセプト

OPAC、ディスカバリサービスでもない、第3の情報発見環境
DXで実現するサブジェクトライブラリー

- 学術情報の質の違い(図書館蔵書、高度な論文等)が直感的に
区別可能なUI/UX とレスポンス性を追求
- 学術分野(サブジェクト)ごとに情報発見環境を分割することも可能で、
利用者が求める学術分野への適合性向上



最新のDX技術を活用した蔵書分析ソリューション ライブラリ・アナリティクス

こんなお悩みはありませんか？

狭隘化問題の
深刻度は増すばかり

地下やバックヤードは
段ボールの山

場当たりの除籍も
限界が見えている

ライブラリ・アナリティクスが、**蔵書構成を見える化**します

- 年代別の蔵書割合や利用状況を可視化します。
- 多階層の資料分類を配架レベルで分析可能です。

選書業務の高度化も支援可能です

- 経年の分類別の資料購入状況を可視化します。
- 利用実態も合わせて分析可能です。

NTT Data
Trusted Global Innovator

【お問い合わせ先】株式会社 NTT データ九州

公共システム事業部 文教ビジネス統括部

電話 092-475-5145

Email nalis@nttdata-kyushu.co.jp



キングテック株式会社
KINGTEC CORPORATION

<http://www.kingtec.jp>



FUKUOKA 福岡
OFFICE PARTNER オフィスパートナー

<http://www.fukuoka.kingtec.jp>



～ オフィスの変革をカタチにする～

快適で働きやすいオフィス環境をサポートします。
リノベーションから補修まで、幅広いサービスをワンストップで提供します。



FUKUOKA オフィスパートナー
OFFICE PARTNER

キングテック株式会社 福岡支店

〒812-0062 福岡県福岡市東区松島1-34-17
TEL 092-622-4400 FAX 092-624-6195
本社：北九州市小倉北区東港2-5-1
支店：東京・名古屋・大阪・広島・山口・熊本・大分・鹿児島・沖縄

最適な空間をご提案いたします

金剛は、お客様と共に
それぞれの施設に応じた空間・環境づくりを行っています。



図書館の開架・閉架書架 / 博物館・美術館の保存設備など



安心と先進で社会文化に貢献する

 **金剛株式会社**

www.kongo-corp.co.jp

熊本本社 / 熊本市西区上熊本 3-8-1

TEL (096) 355-1111 (代)

九州支店 / 福岡市博多区博多駅前 2-20-15 第7岡部ビル 9F

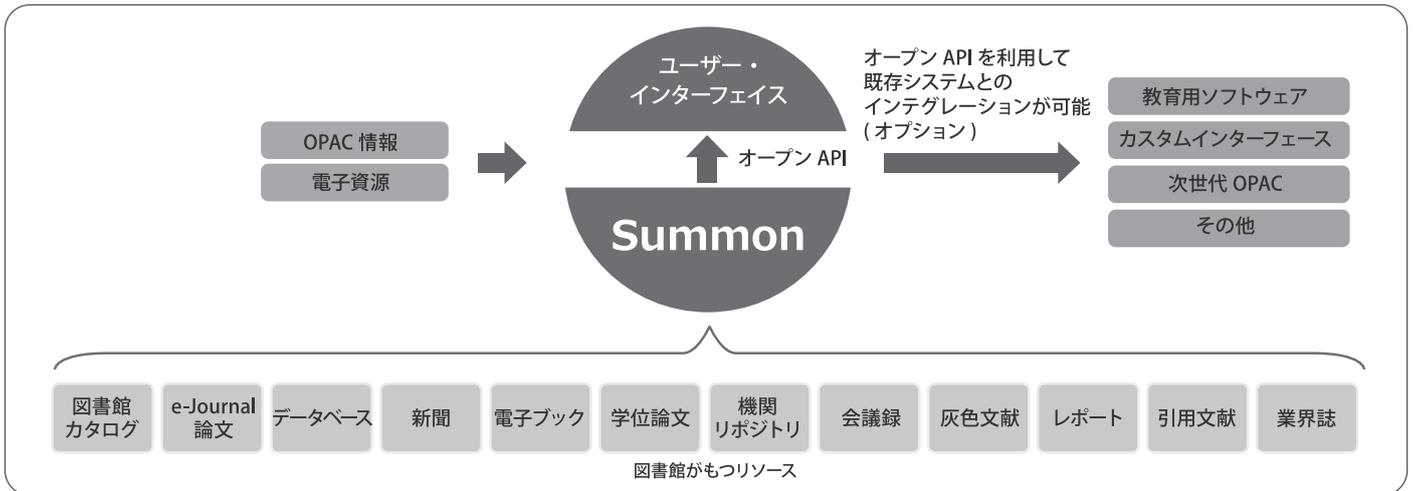
TEL (092) 433-3988

支店・営業所 / 仙台・東京・名古屋・金沢・大阪・広島・岡山・高松
福岡・大分・長崎・佐賀・熊本・八代・天草・宮崎
鹿児島・沖縄



図書館が提供する様々な種類の学術資料を一つの検索窓からまとめて検索することができます

Summon は Ex Libris, Part of Clarivate 社のウェブスケールディスカバリーサービスです。グーグルのようなシンプルなインターフェイスから図書館独自の広範囲で信頼性の高い情報へすばやくアクセスすることができます。



POINT 1

すべてのリソースを一度に検索

すべてのリソースをたったひとつの検索窓から見つけることができます。現在のインターネットユーザーのニーズを満たす新しい学術情報の検索スタイルを提供します。

POINT 2

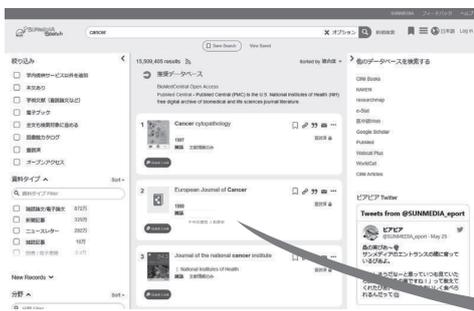
信頼のおけるコンテンツだけを検索

検索対象はすべて図書館のコンテンツです。信頼性が高く、しかも入手可能なコンテンツにのみアクセスすることができます。

POINT 3

瞬時に検索結果を表示

図書館で利用できるすべてのリソースのメタデータをあらかじめハーベスティングさせるので、Google などの検索スピードを実現します。



図書館システムと連携して所蔵・貸出情報をリアルタイムで表示

冊子の検索結果には現在の貸出し状況や保管場所が表示されます。検索結果をクリックすると図書館 OPAC のライブリンクになっています。

中央図書館, 3階書架

SaaS 型サービスなので導入・メンテナンスの手間がかかりません

Software as a Service (SaaS) で提供されるため、サーバーの設置やアップデート、メンテナンスといった作業に人員を割く必要はありません。常に最新で最適な状態でサービスを利用することができます。

目的の資料への確にナビゲートします

ファセット機能によりフォーマット、主題、出版年などによる絞り込み検索を効率的に実行できます。また、360Link などのリンクリゾルバと連携して該当の資料に確実にたどり着くことができます。



お見積もりやトライアルのご相談は...



株式会社サンメディア e-Port カンパニー

e-mail : e-port@sunmedia.co.jp 東京都中野区本町 3-10-3 PORT ビル Tel : 03-3299-1575

文献管理と共有、 論文作成を支援する Web サービス

RefWorks

RefWorks は Ex Libris, Part of Clarivate 社の提供する文献管理ツールです。PubMed や医中誌 Web、Google Scholar などのデータベースで見つけた文献情報を簡単に取り込み、クラウド上で管理することができます。取り込んだ文献情報を使って論文の参考文献リストを指定した形式で簡単に出力することもできます。

ドラッグ & ドロップで簡単に取り込み

PDF をドラッグ & ドロップするだけで本文と書誌情報を取り込みます。本文はいつでも RefWorks 上で閲覧できます。



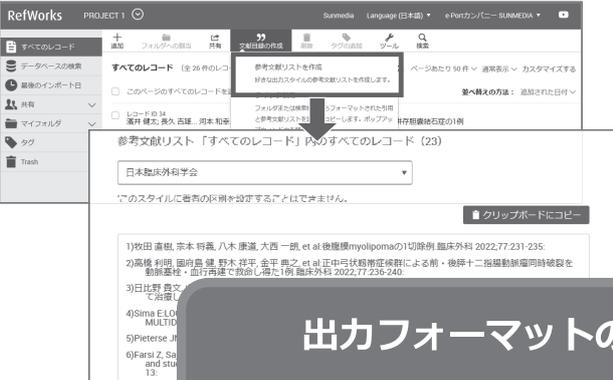
Web サイトの情報を取り込む"Save to RefWorks"

お気に入りに登録した "Save to RefWorks" をクリックすると、Web サイトの情報を自動的に取り込みます。



参考文献リストの作成

RefWorks 上で書誌情報と出力フォーマットを選択するだけで、参考文献リストを作成できます。



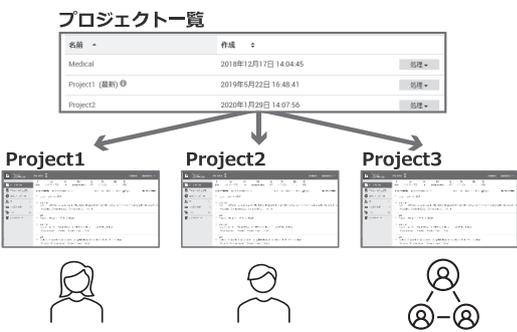
▶ Wordで論文を執筆中の方へ！
RefWorks Citation Manager
アドインを利用し、Wordで作成中の論文に文中引用・参考文献リストを直接挿入できます。



出力フォーマットの作成依頼 も承ります！
RefWorks では 6,500 以上のフォーマットから選択し参考文献リストを作成できます。また、目的の出力フォーマットが見つからない場合は、投稿規定等をもとにサンメディアで出力フォーマットを作成いたします。

共同研究者と共有する

目的に応じてプロジェクトに分けて RefWorks を利用可能です。プロジェクトを共有して共同研究に利用することもできます。



大好評！ オンライン講習会を開催します

RefWorks の利用方法を分かりやすく解説する講習会を開催します。サンメディアまでご連絡ください。

今なら /
**無料トライアル
受付中！**

 <https://www.sunmedia.co.jp/e-port-kaigai-trial-form/>

お気軽にお申込みください！ 

LIBRARY SOLUTION SERVICE

図書館サービスのご案内

ソフト・ハードの両面から図書館を支える「ワンストップサービスカンパニー」を目指し、図書館の持つ可能性を最大限に生かすことのできるソリューションをご提供しています。



図書館製本

創業以来培ってきた豊富なノウハウと高い技術力で、さまざまな製本に小ロットから大量発注まで柔軟に対応します。

- 雑誌合冊製本
- 新聞製本
- 論文製本
- 書類製本
- 簡易製本
- カルテ製本
- リーフレット製本
- 図書修理製本・再製本
- 和綴じ



資料保存

さまざまな資料の長期保存と活用のため、劣化・保存状況、目的やご要望に合わせて、適切な保存処置や環境整備をご提案します。

- 洋装本の修理・修復
- 裏打ち・すきはめ (リーフキャストイング)
- 軸装・額装の再仕立て
- 脱酸性化処理
- エンキャプスレーション
- 帙・四方帙の作製
- 環境調査
- 書籍クリーニング



デジタル・ソリューション

電子化・電子書籍の制作から、Web 公開用のシステム・ホームページの構築まで、資料の有効活用をサポートします。

- 画像データ化
- 大判スキャン
- フィルムスキャン
- 既存データの変換
- テキストデータ入力
- 閲覧・公開システム・ホームページの構築
- 機関リポジトリ構築支援



図書館運営サービス

部分的な業務から図書館全体の管理・運営まで、図書館のパートナーとして業務の効率化、サービスの向上に取り組みます。

- 図書・雑誌の受入・整理
- 製本準備・受入
- 装備
- 未整理資料の一括整理
- 閲覧・カウンター業務
- 蔵書点検
- 書籍移動・配架シミュレーション・書籍保管
- 図書館運営・指定管理



システム&サプライ

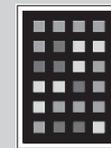
図書館の運用に欠かせないシステムやアイテムを数多く取り揃えています。

- 図書館システム
- ICシステム・ICタグ
- 自動貸出装置・無断持出し防止装置
- 磁気テープ
- 書架・整理収納用品
- 展示用品・保存用品
- 図書館空間デザイン
- ラベル・カード作成
- オンデマンド印刷



カメレオンコード

低コストで一括認識ができるカラー・コード (カメレオンコード) を活用した、効率的な蔵書管理ソリューションをご提案しています。



カメレオンコード

- N-CLASS 蔵書点検・所在管理システム
- 各種図書館システム連携

<カメレオンコード>は株式会社シフトの登録商標です。



ナカバヤシ株式会社 福岡支店 図書館ソリューション営業部

〒812-0051 福岡市東区箱崎ふ頭5丁目7-11

TEL:092-641-3661 FAX:092-641-3699

HP : <https://www.nakabayashi.co.jp/> MAIL : toshokan@nakabayashi.co.jp



もっと自由に。 SIGMOS

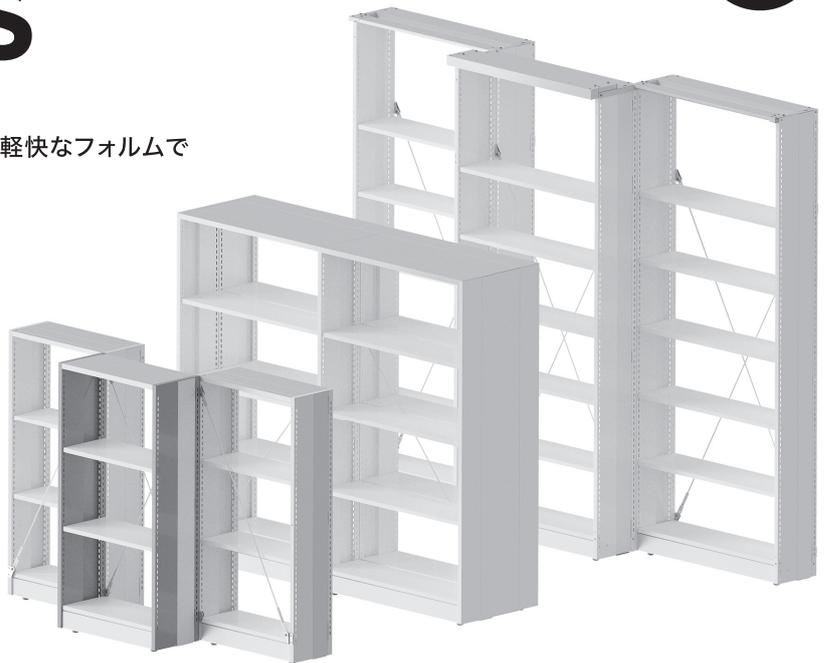
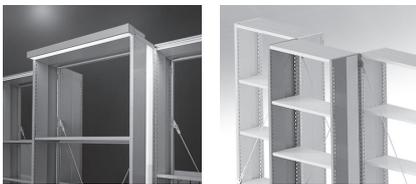
NEW

シグモス [パネル書架]

柱のないパネル式書架は、柱式書架と比べ軽快なフォルムで
小規模図書館やオフィスにもマッチします。

Product Features

- 背面には開放感と剛性を両立させるブレース材を採用。
設計の自由度を高め、空間を自由に生かすことが可能。
- シグモスのパネルはS字型になっているのが特長で、
凹み部分に照明を組み込んだり多彩なカスタマイズが可能。
- 単式タイプを前後にずらして連結する「ジグザグレイアウト」も
特長のひとつ。状況に応じて増設、組み替えが自由。



よりよい保管システムを提供する



日本ファイリング

日本ファイリング株式会社

本社 / 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-8-11
支店 / 大阪・名古屋 営業所 / 札幌・仙台・広島・福岡

ISO14001
ISO9001
認証取得企業

お申込み・お問い合わせ

<https://www.nipponfiling.co.jp>

問い・本・対話が連なる 毎月更新の一畳ライブラリー

ほんのれん



ほんのれんは、毎月「問い」をお届けする更新型の一畳ライブラリーサービス。
人が行き交ういつもの場所を、人と人がつながる対話の場に変化させます。
本を片手にちょっと深い話を交わしたり、自分や人の意外な一面を見つけたり。
正解のない問いをめぐり、個人や組織に新たな発見や気づきを生み出します。
「読んで話す」新習慣で、まなびつづける風土をつくります。



気軽、だけど深い。毎月の「問い」



社会の話題や時候から今こそ考えたい旬なテーマを毎月「問い」にてお届け。多様な視点の5冊の本・共読ツールをセットにてお送りします。

組織を越えた、知のネットワークを創る



全国に広がる「ほんのれん」導入機関を同じ問いで繋ぎ、様々な立場の人々が対話・交流する越境の機会をリアル・オンラインで提供しています。

●資料請求・お問い合わせ● 丸善雄松堂(株)九州支店 TEL 092-561-1831



公式サイト honnonoren.jp

編集工学研究所
EDITORIAL ENGINEERING LABORATORY
MARUZEN-YUSHODO

- ・ お手元で検索・試し読み
- ・ 円価で注文、即接続
- ・ 請求書支払い

法人向け洋書電子書籍230万冊が 紀伊國屋書店のWebストアで すぐ買える！すぐ読める！

紀伊國屋書店の法人向けオンラインストアBookWeb Proで
洋書電子書籍サービスEbook Centralの電子書籍を
1冊から購入できます
※初回のみお申し込みが必要です

お申込み・お問い合わせは、株式会社紀伊國屋書店 九州営業部

福岡営業所	TEL 092-437-5353	〒812-0016	福岡市博多区博多駅南1-3-11 KDX博多南ビル6F
熊本営業所	TEL 096-322-5666	〒860-0806	熊本市中央区花畑町4-1 太陽生命熊本第2ビル2F
鹿児島営業所	TEL 099-223-4519	〒892-0847	鹿児島市西千石町17-3 太陽生命鹿児島第2ビル8F
沖縄営業所	TEL 098-887-3678	〒903-0804	那覇市首里石嶺町4-99-1 まるしんビル
【本社】デジタル情報営業部	TEL 03-6910-0518	〒153-8504	東京都目黒区下目黒3丁目7番10号



丸善ジュンク堂書店

外商部 福岡営業所

- * 店頭での選書ツアーも受け付けております *
- * メールでお気軽にお問い合わせ下さい *
- * 請求書払いにもご対応しております *

お問い合わせ先 E-mail fk-gai@junkudo.co.jp

福岡市中央区大名 1-15-1 天神西通りスクエア 4F

電話・092-738-3405 FAX・092-717-7321

広がります あなたの未来

政府刊行物

探したい本はここで見つかる。

政府刊行物のホームページ

<http://www.gov-book.or.jp/>

政府刊行物サービス・ステーション

天神:福岡市中央区天神 4-5-10(チサン天神 1F)

市役所:福岡市中央区天神 1-8-1(福岡市役所 B1F)

TEL(092)721-4846

TEL(092)722-4861

県庁:福岡市博多区東公園 7-7(福岡県庁 B1F)

TEL(092)641-7838

政府刊行物普及株式会社・福岡県官報販売所

〒810-0001福岡市中央区天神 4-5-17

TEL(092)761-1151 FAX(092)751-0385

IMPORTER OF ACADEMIC PUBLICATIONS & SOFTWARE

福岡海外株式会社

海外学術書籍、雑誌、国際会議録、規格、データベースの輸入販売、

及びそれらのデジタルコンテンツでの販売とサポート



〒812-0023 福岡市博多区奈良屋町 10 番 3 号

☎092(402)2145 Fax 092(402)2146

E-mail: e-shibuya@giga.ocn.ne.jp

fkaigai@lime.ocn.ne.jp

<http://www.fkaigai.com>

紙の本、

「AI」も夢中。

ミドリ印刷は、未来を見据えた技術とサービスで、情報とクリエイティブを次の時代へ繋げ、価値を創造します。

おかげさまで創業57周年を迎えました

 株式会社 **ミドリ印刷**

本社 (グループ本部) | 〒812-0016 福岡市博多区博多駅南6丁目17番12号
TEL 092-292-0300 FAX 092-483-9089

営業部 (工場部) | 〒812-0857 福岡市博多区西月隈1丁目2番11号
TEL 092-441-6747 FAX 092-473-1275

SUSTAINABLE DEVELOPMENT **GOALS**

ミドリ印刷は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

www.midori-p.com



九州地区大学図書館協議会誌 第67号

令和7年2月発行

発行 福岡市西区元岡744 九州大学附属図書館内
九州地区大学図書館協議会

T E L (092) 802 - 2470

F A X (092) 802 - 2474

<https://www.lib.kyushu-u.ac.jp/qkyogikai/>

